

(別紙)

地方独立行政法人福岡市立病院機構
令和3年度の業務実績に関する評価結果

小項目評価

福岡市立病院機構の概要

(1) 現況（令和3年4月1日現在）

① 法人名

地方独立行政法人福岡市立病院機構

② 本部の所在地

福岡市東区香椎照葉5丁目1番1号

③ 役員の状況

役員	氏名	備考
理事長	原 寿郎	福岡市立こども病院 院長
副理事長	桑野 博行	福岡市民病院 院長
理事	石原 進	九州旅客鉄道株式会社 相談役
	久保 千春	中村学園大学・中村学園大学短期大学部 学長
	神坂 登世子	国際医療福祉大学 九州地区生涯教育センター 副センター長
	野中 耕太	運営本部 運営本部長
監事	久留 和夫	公認会計士
	柳澤 賢二	弁護士

④ 設置・運営する病院

病院名	所在地	病床数
福岡市立こども病院	福岡市東区香椎照葉5丁目1番1号	一般病床 239床
福岡市民病院	福岡市博多区吉塚本町13番1号	一般病床 200床 感染症病床 4床

⑤ 職員数

(令和3年5月1日現在)

区 分	職員数
合 計	1,026人
福岡市立こども病院	618人
福岡市民病院	397人
運営本部	11人

(2) 基本的な目標等

地方独立行政法人福岡市立病院機構は、地方独立行政法人制度の特長である自律性、自主性を最大限に発揮し、医療制度改革や診療報酬改定など医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しつつ、効率的な病院経営を行いながら、地域の医療機関等との機能分担や連携の下、引き続き高度専門医療、救急医療等を提供し、地域における医療水準の向上、市民の健康の維持及び増進に寄与すべく、以下の基本理念及び基本方針の下、福岡市長から指示された中期目標を達成する。

〈基本理念〉

いのちを喜び、心でふれあい、すべての人を慈しむ病院を目指します。

〈基本方針〉

質の高い医療の提供

地域・社会に貢献する病院

健全な病院経営

(1) 法人の総括と課題

法人設立12年目となる令和3年度については、福岡市から示された第4期中期目標期間の初年度であったが、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の影響が継続する中、市立病院としての役割を果たすため、引き続きコロナ対応に取り組むとともに、病院機能を可能な限り維持し、更にこれらの機能の強化や経営の効率化等に取り組んだ。

コロナ対応については、令和3年2月から新型コロナワクチン接種が開始されたものの、ウイルスの変異等により感染拡大が継続する中で、両病院ともに対策本部を継続し、院内の感染防止対策の徹底や研修を実施するとともに、人員の確保、資機材の調達等により診療体制を整備し、疑似症を含む患者の受入れを積極的に行った。

令和3年度の年度計画については、令和2年度に引き続きコロナ禍における医業収支の見通しが困難な中で、福岡市立こども病院においては、中核的な小児総合医療施設としてこれまで培ってきた小児医療（高度・地域・救急）及び周産期医療の更なる充実を図り、また、福岡市民病院においては、コロナ対策における福岡市の中核的な役割を果たすとともに、高度専門医療、救急医療について可能な限り通常診療の継続に取り組んだ。

経営収支面では、増収対策として病棟間の人員配置を弾力的に行う等、効率的な病棟運用を行うとともに、適切な施設基準の取得やレセプト請求の精度向上等に取り組み、また、費用削減として診療材料等の選定や価格交渉の徹底等に取り組んだほか、コロナ対応に係る国や県からの補助金の交付もあり、当期純利益は福岡市立こども病院において5億円余、福岡市民病院において11億円余となった。

今後の課題として、経営環境についてはコロナの影響が継続するものと考えているが、両病院ともに、引き続き感染症への対応を適切に行うとともに、福岡市立こども病院においては、求められる高度小児医療、小児救急医療及び周産期医療を提供する病院としての役割を果たしていくため、医療環境の変化を踏まえながら、医療機能等について検討を進めていく必要がある。

また、福岡市民病院においては、地域医療構想及び医療計画にて地域で必要とされる高度専門医療及び救急医療体制を提供するために必要な取組を継続して行うとともに、災害時や感染症等発生時等の緊急時には、事業継続計画に基づき、福岡市及び関係機関との連携の下、市立病院として求められる役割を果たす必要がある。

(2) 大項目ごとの取組状況及び特記事項

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 医療サービス

福岡市の医療施策として求められる高度専門医療、高度救急医療等を引き続き提供するために、診療機能の更なる充実を図った。

福岡市立こども病院においては、「福岡県新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関」として、引き続き、コロナに係る小児救急医療の提供を行うとともに、福岡市の「自宅療養支援医療機関」として、自宅療養者への電話診療等の支援を行った。

また、コロナ対応以外では、移行期支援外来（たけのこ外来）における、移行期支援プレ期の患者及び患者家族に対する教育の開始、医師業務のタスクシフティング、機器・人員の集約化、診断技術の教育を目的とした「エコーセンター」の設置、小児アレルギーエデュケーターの資格を有する小児看護専門看護師によるアレルギー看護外来の試行を開始するなど診療機能の強化・充実に取り組んだ。

福岡市民病院においては、引き続き、行政や他の指定感染症医療機関等と緊密な連携をもちながら、「福岡県新型コロナウイルス感染症重点医療機関」としてコロナ専用病床を確保し、積極的な患者受入れに取り組むなど福岡市におけるコロナ対策の中核的な役割を果たすとともに、コロナ以外の対応においても、ICU（集中治療室）に入室する重症患者の早期離床や在宅移行支援に向けた栄養管理を目的として専任の管理栄養士を配置し、また、X線TV透視室に高画質かつ低被ばくでの撮影を可能とするCアーム型の撮影装置を導入するなど高度専門医療の更なる充実を図った。

また、両病院ともに令和2年度に引き続き、Webなどを活用したオープンカンファレンスを実施するなど、地域の医療機関を中心に積極的な病病連携・病診連携に努めた。

2 患者サービス

患者一人ひとりに質の高い医療及び充実した看護を提供することが患者サービスの基本と捉えたうえで、より一層の接遇改善を含め、職員が一丸となって患者サービスの向上に取り組み、患者満足度の向上に努めた。

福岡市立こども病院においては、ふくおかハウス及びマリンワールドとの共同で「リモート水族館」の開催、福岡市立こども病院のLINE公式アカウントに初診受付・予約照会機能を追加するなど、患者サービスの向上を図った。

福岡市民病院においては、オンラインでの面会専用のタブレットや外国人への対応を強化するための携帯型翻訳機を導入し、総合案内へのロボットの導入に向けた検討を行うなど、ICT（情報通信技術）の積極的な活用に取り組むとともに、病衣及び日用品の日額定額によるレンタルサービスを導入するなど、患者サービスの向上及び職員の負担軽減を図った。

さらに、両病院ともに、患者や医療関係者等にとって情報が探しやすくなるホー

ムページの全面リニューアルに向けた準備（令和4年4月公開）を行うなど積極的に情報を発信し、医療機関、市民・患者に開かれた病院づくりに努めた。

3 医療の質の向上

実習生の受入れやWebを活用した説明会等を実施して、意欲ある人材の確保に努めた。

福岡市立こども病院においては、医療安全管理室による研修会の開催、薬剤師による薬剤管理指導内容の充実、薬剤師によるTPN（中心静脈栄養輸液）無菌調製の全病棟への拡大により、安全性の向上及び医師・看護師の負担軽減を図った。

福岡市民病院においては、コロナ対応への応援のために稼働が逼迫する一般病棟等へのマンパワー確保のため、派遣会社を活用して看護師を確保するなど、看護職員の負担軽減を図るとともに、医師の働き方改革や院内の年次有給休暇取得率向上に向けた周知活動等、職員が長く働き続けられる環境づくりの推進に取り組んだ。

両病院ともに、市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、感染症専門医や感染管理認定看護師等を中心に院内の感染防止対策の徹底を図るとともに、医療安全研修会の開催や院内各部署への迅速な情報共有等を通じて、職員の安全対策に対する意識向上を図り、Web等を活用した他病院との情報交換や相互評価等により地域における医療安全対策の質の向上に取り組むなど、医療安全対策の強化を図った。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実

法人運営を的確に行うため、令和3年度は計9回（うちWeb開催4回）の理事会を開催し、理事会の方針決定に沿って自律的な運営を行った。

また、病院長のリーダーシップの下、執行部会議や経営五役会議等を開催し、医療情勢の変化や患者のニーズに対応ができるよう迅速な意思決定や情報共有を図りながら、各病院の実態に即した機動性の高い病院経営に取り組むとともに、運営本部と両病院合同による経営会議及び運営調整会議を毎月開催し、法人全体的な視点から、市立病院として適切な法人運営に取り組んだ。

2 事務部門の機能強化

資質向上を目的とした研修を実施するとともに、労務管理システム導入に向けた準備を行い、また、DX（Digital Transformation）を法人全体で統一的に推進するため、「企画情報推進室」の新設の準備を行った。

また、福岡市立こども病院において、RPA（Robotic Process Automation）の更なる活用を図るとともに、グループウェアシステムの本格運用を行い、各種お知らせや申請・承認業務等を電子化し、事務業務の効率化を推進した。

3 働きがいのある職場環境づくり

職員が安心して働き続けることができるよう、コロナの流行に伴い、職員の発熱により出勤することが困難な場合の特別休暇等を継続して措置するとともに、在宅勤務制度や新型コロナワクチン接種に関する有給職免制度を導入した。また、看護職員の処遇改善のための手当を創設した。

福岡市立こども病院においては、医師の超音波検査業務を臨床検査技師へ移管するなど、各職種のタスクシフティングに取り組み、職員の負担軽減に努めるとともに、医師の働き方改革の取組の一環として、院内外における時間外勤務の調査を実施し、実態に応じた医師の労働時間短縮計画を策定した。

福岡市民病院においては、医師業務改善委員会・看護職員業務改善委員会を開催し各職種のタスクシフティングに取り組むとともに、職員の働き方改革への取組として、ワーク・ライフ・バランス推進委員会を開催し、医療従事者の生活の質の向上による職員の定着を図るため、委員会から各所属長へ年次有給休暇取得促進を呼び掛けた。

4 法令遵守と公平性・透明性の確保

管理監督者に対するWeb動画を活用したコンプライアンス研修や情報セキュリティ研修等様々な機会を通じて職員の服務規律の指導を徹底し、法人職員として有すべき行動規範と倫理観の確立に努めるとともに、個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例等に基づき、適切に対応した。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 持続可能な経営基盤の確立

執行部会議等を定期的に開催し、病院の経営状況を踏まえ、取り組むべき課題を明確にした上で、増収及び費用削減に取り組むとともに、月次決算の実施等経営に関する情報を迅速に把握し、経営分析や他病院との比較・分析等を通じて、効率的な病院経営に取り組んだ。

また、収支改善により生じた利益を積み立て、今後の投資計画を踏まえた投資財源の確保を図り、計画的な施設整備、高額医療機器の更新や必要な医療機器の購入等、効果的な投資を行った。

2 収支改善

両病院ともに、ICT（情報通信技術）の活用による業務効率化や給与費比率の適正化、価格交渉等による診療材料費の更なる縮減を行った。

福岡市立こども病院においては、病棟間の人員配置を弾力的に行う等効率的な病棟運用の実施、国や県のコロナ関連補助金を含む各種補助金の申請、院内の保険診療検討ワーキングチームを中心に査定傾向の分析に基づいた診療報酬請求プロセスの改善活動を病院全体で実施し、医業収益は91億4,200万円余で、前年度より2億6,700万円余の増、福岡市民病院においては、紹介患者の確保に重点を置き、開業医に特化した広報誌の発行、開業医等へのメールマガジン動画の配信、新

規開業医療機関への訪問等を実施、詳細な収益動向の分析と可視化を行うBIツールの導入、レセプト請求の精度向上に取り組み、医業収益は56億8,000万円余で、前年度より1億5,500万円余の増となった。

これらの結果、福岡市立こども病院においては、経常収支比率及び医業収支比率の目標値を上回り、福岡市民病院においては、医業収支比率は目標値を下回ったが、経常収支比率は目標値を上回り、法人全体での当期純利益は17億2,700万円余となった。

【医業収益】

(単位：千円)

区 分	令和2年度実績	令和3年度実績 ()は予算上の目標値	比較増減 ()は実績－目標値
福岡市立こども病院	8,875,129	9,142,694 (9,142,637)	267,565 (57)
福岡市民病院	5,525,171	5,680,436 (5,391,209)	155,265 (289,227)
法人全体	14,400,301	14,823,130 (14,533,846)	422,829 (289,284)

【営業費用】

(単位：千円)

区 分	令和2年度実績	令和3年度実績 ()は予算上の目標値	比較増減 ()は実績－目標値
福岡市立こども病院	10,310,722	10,407,829 (10,488,005)	97,106 (▲80,176)
福岡市民病院	6,972,252	7,157,946 (6,624,829)	185,694 (533,117)
法人全体	17,282,974	17,565,774 (17,112,834)	282,800 (452,940)

(注) 計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは一致しないものがある。

【経常収支比率】

(単位：%)

区 分	令和2年度実績	令和3年度実績 ()は予算上の目標値	比較増減 ()は実績－目標値
福岡市立こども病院	104.3	105.6 (100.9)	1.3 (4.7)
福岡市民病院	109.5	116.1 (95.8)	6.6 (20.3)
法人全体	106.4	109.8 (98.9)	3.4 (10.9)

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

1 福岡市立こども病院における医療機能の充実

厚生労働省DPC（診断群分類）公開データにおいて、川崎病（113例）及び先天性心疾患に係る手術症例（70例）について、成人を含む全国のDPC病院の中で症例数が6年連続で全国1位となった。

また、科学研究費助成事業（文部科学省）で研究代表として採択された課題等に積極的に取り組み、15件（うち研究代表3件）の研究に参加した。川崎病の臨床研究については、福岡市立こども病院が主体で作成した論文が日本川崎病学会第22回川崎賞を受賞するとともに、2021年の英語論文数において全国3位、インパクトファクターにおいては全国1位となった。治験業務については、アクティブプロトコル27件（うち新規10件）を実施し、新たに9人の患者へ治験を開始した。

さらに、国際医療支援センターを中心に、職員の外国語能力・コミュニケーション能力の向上を目指して、医療英語・中国語・フランス語研修を開催したほか、脳死判定及び臓器提供のシミュレーションを実施するとともに、多職種で構成される「医療情報システム導入検討プロジェクト会議」を中心に、診療への影響を最小限にとどめる形で新システムへの移行を完了させた。

2 福岡市民病院における経営改善の推進

令和2年度に設置した「ICU・救急プロジェクト」において、令和3年度は救急搬送件数の確保に向けた取組を進める予定であったが、コロナ対応が途切れることなく続いたことで、救急強化の取組は保留となった。

1年を通じて長期間にわたりコロナ専用の受入病床を確保（57床）したことにより、患者数は大幅に減少した。一方で、福岡市におけるコロナ対応の中核的な役割を果たしながら、通常診療を途切れさせないため、診療科や病棟の垣根を越えた患者受入れを行うとともに、紹介患者の確保のための広報活動や新規開業医療機関への訪問活動等の取組を重点的に行った結果、コロナ専用病棟を除く一般病棟の病床利用率は年平均93.9%となり、院内クラスター発生による一時的な入院制限等があったにもかかわらず、高い水準を維持した。

また、中長期修繕計画に基づき、緊急性の高い外壁補修及び屋上等防水工事等必須のものについては着実に更新作業を完了させるとともに、高度専門医療の提供に必要な医療機器を購入するなど、必要な投資を行った。

【福岡市民病院 医業収支比較】 (単位：百万円)

区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
医業収益 a	5,686	6,065	5,617	5,525	5,680
営業費用 b	6,090	6,549	6,442	6,972	7,158
差引 (a-b)	▲404	▲483	▲825	▲1,447	▲1,478
比率 (a/b)	93.4%	92.6%	87.2%	79.2%	79.4%

(注) 計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

【主な目標値の達成状況】

区 分		福岡市立こども病院			福岡市民病院		
		3年度 目標値	3年度 実績値	達成率	3年度 目標値	3年度 実績値	達成率
患者 動向	1人1日当たり入院単価（円）	112,000	109,403	97.7	65,000	78,153	120.2
	1人1日当たり外来単価（円）	11,620	11,434	98.4	23,000	24,597	106.9
	1日当たり入院患者数（人） （病床利用率（%））	195.0 (81.6)	198.9 (83.2)	102.0 (102.0)	174.2 (85.4)	154.0 (75.5)	88.4 (88.4)
	新規入院患者数（人）	6,530	7,104	108.8	4,310	4,048	93.9
	平均在院日数（日）	9.9	9.2	107.6	12.6	12.5	100.8
	1日当たり外来患者数（人）	363.2	385.5	106.1	212.7	205.9	96.8
医業 活動	手術件数（件）	2,740	2,705	98.7	3,448	3,877	112.4
	救急搬送件数（件）	1,000	1,269	126.9	2,732	2,565	93.9
	紹介率（%）	90.0	92.6	102.9	88.0	95.9	109.0
	逆紹介率（%）	66.7	66.6	99.9	152.2	185.2	121.7
	薬剤管理指導件数（件）	4,000	5,407	135.2	9,000	7,231	80.3
	栄養食事指導・相談件数（件）	1,300	1,414	108.8	993	763	76.8
患者 満足	退院時アンケートの平均評価点数 （こども病院）（100点満点）	89.0	89.8	100.9	—	—	—
	患者満足度調査における平均評価 点数（福岡市民病院）（100点満点）	—	—	—	89.8	90.1	100.3
経営 収支	給与費対医業収益比率（%）	63.4	62.2	101.9	67.2	67.4	99.7
	材料費対医業収益比率（%）	18.4	19.0	96.8	26.2	29.3	89.4
	薬品費対医業収益比率（%）	6.2	5.5	112.7	8.0	8.0	100.0
	診療材料費対医業収益比率（%）	11.9	13.2	90.2	18.1	20.9	86.6
	委託費対医業収益比率（%）	11.3	10.4	108.7	8.4	8.3	101.2
	ジェネリック医薬品導入率（%）※	85.0	86.3	101.5	88.7	88.3	99.5
	経常収支比率（%）	100.9	105.6	104.7	95.8	116.1	121.2
	医業収支比率（%）	87.0	87.8	100.9	81.3	79.4	97.7

※ジェネリック医薬品導入率については、数量の割合で算出している。

項目別の状況

<p>中期目標(項目)</p>	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (1) 良質な医療の実践</p>
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(1) 良質な医療の実践</p> <p>福岡市立こども病院及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>高度小児専門医療、小児救急医療及び周産期医療の更なる充実に取り組むとともに、移行期医療や医療的ケア児への対応等、福岡市立こども病院に求められる役割を果たせるよう、診療機能の充実や見直しを図る。</p>	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(1) 良質な医療の実践</p> <p>福岡市立こども病院及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「福岡県新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関」として、引き続き、福岡県における新型コロナウイルス感染症にかかる小児救急医療の提供を行う。 ○ 福岡県の地域周産期母子医療センターとして、地域における母体搬送・新生児搬送を受け入れ、高度な周産期医療を提供するとともに、「福岡県母体搬送コーディネーター事業」の中核病院として、地域における周産期救急搬送体制の一翼を継続的に担う。 ○ 移行期支援外来(たけのこ外来)を中心に、移行期患者教育プログラムを着実に実施する。 ○ 福岡県等が実施する「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」に引き続き参加し、地域の小児在宅医療の推進に努める。 ○ 入退院支援部門と地域医療連携部門の整備等を実施し、多職種協働による入退院支援部門の拡充を図る。

中期目標(内容)	<p>市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。</p> <p>また、その役割を安定的かつ継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>これまで培ってきた高度小児専門医療、小児救急医療及び周産期医療の更なる充実を図るとともに、中核的な小児総合医療施設として求められる役割を果たすこと。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「福岡県新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関」として、引き続き、福岡県におけるコロナに係る小児救急医療の提供を行うとともに、福岡市の「自宅療養支援医療機関」として、コロナ感染者が安心して自宅で療養できるよう、自宅療養者への電話診療等の支援を行った。 ○ 「福岡県母体搬送コーディネーター事業」の中核病院として、切迫早産等新生児病床を必要とする緊急母体搬送症例を積極的に受け入れる（3年度128件、2年度125件）とともに、ドクターカーによる新生児の迎え搬送を積極的に行う（3年度131件、2年度111件）など、地域における周産期救急搬送体制の一翼を担った。 ○ 移行期支援外来（たけのこ外来）において、「たけのこ外来予約枠」を新設し、移行期患者教育プログラムを着実に実施（3年度28人、2年度24人）するとともに、移行期支援のプレ期となる10歳以上の患者及び患者家族に対する支援体制を新たに整備し、移行期支援外来の目的やセルフケアの確立に向けての教育を行った（支援人数59人）。 ○ 福岡県等が実施する「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」に引き続き参加し、医療的ケア児延べ9人（2年度延べ16人）のレスパイト入院を受け入れるとともに、利用家族及びケアを担当した看護師それぞれにアンケートを実施し、ニーズ等の抽出を行い、取組の充実強化を図った。 ○ 看護師、医療ソーシャルワーカー等の多職種で構成する「入退院支援推進チーム」による入院支援の対象診療科を更に拡大（3年度8診療科、2年度7診療科）し、対象診療科（眼科・耳鼻いんこう科・小児外科・泌尿器科・循環器科・皮膚科・脳神経外科、形成外科）延べ3,152人（2年度延べ2,274人）の入院予定患者に対して、患者情報の聴取、治療の説明及び入院生活に関するオリエンテーション等を入院前に実施するなど、安心して入院医療が受けられるよう支援を行った。 	2	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小児のコロナ患者に対する医療をはじめ、小児救急医療、周産期医療及び移行期医療や医療的ケア児への対応に着実に取り組んでいる。 ○ 目標値はほぼ全ての項目で達成しており、また、移行期医療や入退院支援の拡充並びに「アレルギー看護外来（仮称）」の試行設置に取り組むなど、小児総合医療施設として求められる役割を果たすべく診療機能の充実を図っており、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

中期計画				年度計画		
				<ul style="list-style-type: none"> ○ 3Dプリンタを利用した臓器や骨等の医療用実体モデルの製作を行い、手術シミュレーション、患者や家族への説明、学生・研修医等の教育に活用する。 ○ 医師業務のタスクシフティング、機器・人員の集約化及び診断技術の教育を目的として、院内にエコーセンターを設置する。 		
【目標値】				【目標値】		
指標	福岡市立こども病院			指標	福岡市立こども病院	
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
1人1日当たり 入院単価(円)	108,393	112,546	110,000	1人1日当たり 入院単価(円)	108,393	112,000
1日当たり入院 患者数(人) (病床利用率※ (%))	215.5 (90.2)	190.0 (79.5)	205.5 (86.0)	1日当たり 入院患者数(人) (病床利用率※ (%))	215.5 (90.2)	195.0 (81.6)
新規入院患者数 (人)	7,428	6,180	6,883	新規入院患者数(人)	7,428	6,530
手術件数(件)	2,929	2,730	2,800	手術件数(件)	2,929	2,740
救急搬送件数 (件)	1,380	963	1,060	救急搬送件数(件)	1,380	1,000
PICU(小児集中 治療室)利用率 (%)	98.1	98.1	98.1	PICU(小児集中 治療室)利用率(%)	98.1	98.1
NICU(新生児 集中治療室)利用 率(%)	95.7	94.3	95.5	NICU(新生児集 中治療室)利用率 (%)	95.7	95.5
※ 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延べ入院患者数÷年延べ病床数×100)に基づき算出				※ 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延べ入院患者数÷年延べ病床数×100)に基づき算出		

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価																											
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																										
<p>○ 心臓等の医療用実体モデルを14体（2年度14体）製作して、患者家族への分かりやすい治療前説明や術前のシミュレーション、研修医の教育等に活用し、医療の質の向上を図った。</p> <p>○ 超音波検査業務を医師から臨床検査技師へ移管した。また、機器・人員の集約化、診断技術の教育を目的として、生理検査室内にエコーセンターを設置した。</p> <p>● 医薬品の適正使用を推進するため、有効性や安全性、費用対効果等を踏まえ、処方できる医薬品を標準化した鎮痛薬のフォーミュラリー[※]を策定した。</p> <p>[※]各々の医療機関等において、医学・薬学的妥当性や経済性等を踏まえて作成された医薬品の使用方針。</p> <p>● 小児アレルギーエデュケーターの資格を有する小児看護専門看護師によるアレルギー看護外来の試行を開始し、適切な生活指導や相談を行う等、質の高い小児看護の提供に取り組んだ。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1日当たり 入院単価（円）</td> <td>112,693</td> <td>109,403</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率[※] （%））</td> <td>187.8 (78.6)</td> <td>198.9 (83.2)</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数（人）</td> <td>6,195</td> <td>7,104</td> </tr> <tr> <td>手術件数（件）</td> <td>2,603</td> <td>2,705</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数（件）</td> <td>980</td> <td>1,269</td> </tr> <tr> <td>PICU（小児集中 治療室）利用率（%）</td> <td>98.4</td> <td>98.1</td> </tr> <tr> <td>NICU（新生児集 中治療室）利用率 （%）</td> <td>95.3</td> <td>97.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>[※] 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法（年延べ入院患者数÷年延べ病床数×100）に基づき算出</p>	指標	福岡市立こども病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	112,693	109,403	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率 [※] （%））	187.8 (78.6)	198.9 (83.2)	新規入院患者数（人）	6,195	7,104	手術件数（件）	2,603	2,705	救急搬送件数（件）	980	1,269	PICU（小児集中 治療室）利用率（%）	98.4	98.1	NICU（新生児集 中治療室）利用率 （%）	95.3	97.9				
指標		福岡市立こども病院																												
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値																												
1人1日当たり 入院単価（円）	112,693	109,403																												
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率 [※] （%））	187.8 (78.6)	198.9 (83.2)																												
新規入院患者数（人）	6,195	7,104																												
手術件数（件）	2,603	2,705																												
救急搬送件数（件）	980	1,269																												
PICU（小児集中 治療室）利用率（%）	98.4	98.1																												
NICU（新生児集 中治療室）利用率 （%）	95.3	97.9																												

中期計画	年度計画

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 1人1日当たり入院単価及び手術件数は目標値を下回ったが、令和2年度に引き続き、公的医療機関として求められるコロナに係る小児医療の提供を行ったことや、ドクターカーによる新生児迎え搬送を積極的に行ったこと、プレ期(10歳以上)の患者・家族に対する移行期支援(教育)を開始したこと、入退院支援推進チームによる入院支援の対象診療科を拡大したこと、アレルギー看護外来の試行を開始したこと等を総合的に判断し、自己評価は「4」とする。</p>				

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (1) 良質な医療の実践</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(1) 良質な医療の実践</p> <p>福岡市立こども病院及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。</p> <p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 福岡県保健医療計画及び地域医療構想に基づき、公立病院に求められる高度専門医療の更なる充実を図る。</p> <p>② 入院を必要とする重症度の高い救急患者の受入れを円滑に行うため、救急医療の更なる充実を図る。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行うことで、患者と職員の安心と安全を十分に確保するとともに、特に手術や救急受入れについては感染症対策に係る高い専門性と、高度専門・救急医療に係る充実した診療体制を活かし、コロナ禍においても、可能な限り通常の診療体制を維持することで、公立病院に求められる役割を果たす。</p> <p>① 福岡県保健医療計画及び地域医療構想に基づき、がん、心疾患、脳卒中に係る難易度の高い鏡視下手術やカテーテル治療など、高度専門医療の更なる充実を図る。</p> <p>② 入院を必要とする重症度の高い救急患者の受入れを円滑に行うため、救急受入れに係る体制や受入病床の運用を見直すなど、救急医療の更なる充実を図る。</p>

中期目標(内容)	<p>市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。</p> <p>また、その役割を安定的かつ継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。</p> <p>イ 福岡市民病院 高度専門医療を担う地域の中核病院としての機能を維持するとともに、高度救急医療の更なる充実を図ること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>○ コロナの流行に対しては、行政や他の医療機関等と緊密な連携をもちながら、公立病院として、また「福岡県新型コロナウイルス感染症重点医療機関」として、福岡市における中核的な役割を果たした。</p> <p>指定感染症病床（4床）に加え、一般病棟4病棟のうちの1病棟（49床）及びハイケアユニット（4床）をコロナ専用病棟とし、患者と職員の安心と安全を十分確保しながら、令和2年度に引き続きコロナ対応に取り組む一方で、コロナ対応以外の一般病棟、ICU（集中治療室）及びSCU（脳卒中集中治療室）においては、診療科や病棟の垣根を越えた患者受入れに努め、通常診療の維持に取り組んだ。その結果、コロナ専用病棟を除く一般病棟の病床利用率は93.9%、入院単価は78,153円となり、診療報酬特例措置の加算を除いても73,541円と高水準となった。</p> <p>① 高度専門医療の維持に継続して取り組んだ結果、腹腔鏡下手術等の高度な手術件数が増加した（鏡視下手術：3年度310件、2年度222件）。</p> <p>また、ICU（集中治療室）における栄養管理の経験を有し、必要な知識及び技能を有する専任の管理栄養士を配置し、ICU（集中治療室）に入室する重症患者の早期の低栄養改善、経口移行・維持を向上させるとともに、早期離床や在宅移行支援に向けた栄養管理を強化した。</p> <p>さらに、X線TV透視室に、患者への負担を減らし、各診療科の多様な検査に対応することを目的として、高画質かつ低被ばくでの撮影を可能とするCアーム型の撮影装置を導入した。</p> <p>② 救急隊とのコミュニケーションを強化し、救急搬送される心筋梗塞等の重症患者への速やかな治療につなげることを目的として、当院へ到着する前から、救急搬送車内で記録される心電図をクラウド上で共有することで、患者の円滑な受入れや早期の処置準備が可能となる「SCUNA（クラウド型12誘導心電図伝送システム）」に参加し、</p>	2	4	4	<p>○ コロナへの対応については、引き続き本市におけるコロナ対策の中核的な役割を果たすとともに、高度専門医療及び救急医療についても着実に取り組んでいる。</p> <p>○ コロナの影響を受けて、入院患者数や病床利用率等で目標値を下回ったものの、手術件数は目標値のみならずコロナの影響が少ない前々年度も上回っており、入院単価も目標を大きく上回るなど、高度専門医療の充実に向け取り組んだ。また、救急医療については搬送件数が目標値を下回ったものの、新たな取組により診療の強化を図ったことなどから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期計画				年度計画		
【目標値】				【目標値】		
指 標	福岡市民病院			指 標	福岡市民病院	
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
1人1日当たり 入院単価 (円)	64,081	69,327	66,300	1人1日当たり 入院単価 (円)	64,081	65,000
1日当たり入院 患者数 (人) (病床利用率※ (%))	183.9 (90.2)	167.5 (82.1)	190.0 (93.1)	1日当たり入院患者 数 (人) (病床利用率) ※ (%)	183.9 (90.2)	174.2 (85.4)
新規入院患者数 (人)	4,525	4,053	4,769	新規入院患者数 (人)	4,525	4,310
手術件数 (件)	3,719	3,437	3,815	手術件数 (件)	3,719	3,448
救急搬送件数 (件)	2,820	2,404	3,023	救急搬送件数 (件)	2,820	2,732
救急搬送患者の 入院率 (%)	44.0	43.6	43.6	救急搬送患者の入院 率 (%)	44.0	43.6
※ 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法（年延べ入院患者数÷年延べ病床数×100）に基づき算出				※ 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法（年延べ入院患者数÷年延べ病床数×100）に基づき算出		

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価																								
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																							
<p>粕屋南部消防本部との共用を開始するための準備を進めた。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1日当たり 入院単価(円)</td> <td>73,748</td> <td>78,153</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 入院患者数(人) (病床利用率※ (%))</td> <td>160.0 (78.4)</td> <td>154.0 (75.5)</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数 (人)</td> <td>4,026</td> <td>4,048</td> </tr> <tr> <td>手術件数(件)</td> <td>3,625</td> <td>3,877</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数(件)</td> <td>2,411</td> <td>2,565</td> </tr> <tr> <td>救急搬送患者の 入院率(%)</td> <td>50.4</td> <td>50.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延べ入院患者数÷年延べ病床数×100)に基づき算出</p> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 重点医療機関としてコロナ対応のための病床確保(※)を継続した結果、令和2年度と比較しても空床とせざるを得ない期間が長期化したことから、入院患者数、新規入院患者数、救急搬送件数が目標値を下回った。一方で、コロナ専用病棟を除く一般病棟は年平均93.9%の病床利用率を維持するとともに、高度専門医療の提供に積極的に取り組み、手術件数は目標を大幅に上回り、診療報酬におけるコロナ特例措置の加算分を除いた入院単価は73,541円と高水準となるなど、コロナの影響を受けながらも、通常医療を途切れさせないよう取り組んだことから、自己評価は「4」とする。</p> <p>※病床確保による、204床に対する年平均空床率 令和2年度：11.4% (23.3床) 令和3年度：19.3% (39.5床)</p>	指標	福岡市民病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	1人1日当たり 入院単価(円)	73,748	78,153	1日当たり 入院患者数(人) (病床利用率※ (%))	160.0 (78.4)	154.0 (75.5)	新規入院患者数 (人)	4,026	4,048	手術件数(件)	3,625	3,877	救急搬送件数(件)	2,411	2,565	救急搬送患者の 入院率(%)	50.4	50.1				
指標		福岡市民病院																									
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値																									
1人1日当たり 入院単価(円)	73,748	78,153																									
1日当たり 入院患者数(人) (病床利用率※ (%))	160.0 (78.4)	154.0 (75.5)																									
新規入院患者数 (人)	4,026	4,048																									
手術件数(件)	3,625	3,877																									
救急搬送件数(件)	2,411	2,565																									
救急搬送患者の 入院率(%)	50.4	50.1																									

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p> <p>① 地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院としての役割を踏まえ、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進する。 また、地域の医療従事者への教育研修等を通じた地域医療への貢献に取り組む。</p> <p>② 福岡市立こども病院については、福岡県小児等在宅医療推進事業の拠点病院として、行政・医療・福祉・教育等の関係機関と連携を深め、小児在宅医療を担う在宅医や訪問看護ステーション等が拡充されるよう支援を行う等、引き続き地域における小児等医療提供ネットワーク構築に積極的に参加する。</p> <p>③ 福岡市民病院については、地域包括ケアシステムにおける中心的な役割を求められていることを踏まえ、回復期・慢性期病院や地域の在宅医療・介護を担う医療機関等との積極的な連携・支援に取り組むとともに、緊急時の円滑な入院受け入れを行う。</p>	<p>(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を推進するとともに、「こども病院カンファレンス」等のオープンカンファレンスをWEB開催するなど、地域の医療従事者への教育研修等を通じた地域医療への貢献に取り組む。</p> <p>② 福岡県小児等在宅医療推進事業の拠点病院として、地域におけるネットワーク構築や院内における退院支援、多職種を対象とした研修会等を行い、地域の小児在宅医療の推進に努める。 地域医療連携室ニュースレターを年4回発行し、病院の診療体制・診療内容の紹介、地域医療連携に関する情報、カンファレンス・研修会の案内など、登録医療機関への情報発信を継続的に行っていく。</p>

中期目標(内容)	地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進するとともに、地域包括ケアシステムの推進に取り組む上で求められる役割を果たすよう病院運営に取り組むこと。
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① コロナ禍において、直接の訪問等が制限されたため、引き続きWe bミーティング等を通じて、病病・病診連携及び在宅医療・小児慢性特定疾患における多職種連携を図るとともに、「こども病院カンファレンス」や「こども病院・連携病院周産期症例検討会」等のオープンカンファレンスをWe b開催するなど、地域の医療従事者への教育研修等を通じた地域医療への貢献に取り組んだ。</p> <p>② 「福岡県小児等在宅医療推進事業」の拠点病院として、訪問看護ステーションのスタッフを対象とした研修会（テーマ：「小児在宅患者の人工呼吸器」、講師：看護師・臨床工学技士）及び医療的ケア児にかかわる多職種を対象とした研修会（テーマ：「食べる」、講師：歯科医師・管理栄養士）を各1回開催するとともに、看護師及び医療ソーシャルワーカーが訪問看護ステーションの看護師に同行する形式で、退院前・退院後の患者宅への訪問指導を6回実施し、患者宅の環境調整等を行った。</p> <p>前方連携の強化を目的として、登録医宛にニュースレターを送付（4回）し、地域医療ネットワークを活用した児童虐待対応サポートに関する情報提供や当院の取組、研修会等の案内を行った。</p> <p>● 「新型コロナワクチン連携型接種施設」として、地域の医療従事者へのワクチン接種を実施（延べ206人）するとともに、集団接種会場へ職員（医師：延べ170人、看護師：延べ77人、薬剤師：延べ48人）を派遣した。</p>	2	4	4	<p>○ 病病・病診連携の充実や地域包括ケアシステムの推進に着実に取り組んでいる。</p> <p>○ ほぼ全ての指標で目標値を上回っており、特にオープンカンファレンスについてはWe bを積極的に活用するなどして目標値を大幅に上回る実績をあげ、また、地域包括ケアシステムに関する取組としては、退院前後の患者宅への訪問指導を行うなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期計画				年度計画				
【目標値】				【目標値】				
指 標		福岡市立こども病院			指 標		福岡市立こども病院	
		令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値			令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
新規紹介患者数 (人)		8,605	6,350	7,570	新規紹介患者数(人)		8,605	7,400
紹介率(%)		94.8	89.1	90.0	紹介率(%)		94.8	90.0
逆紹介率(%)		68.7	61.3	66.7	逆紹介率(%)		68.7	66.7
オープン カンファ レンス	回 数 (回)	31	18	24	オープンカ ンファレン ス	回 数 (回)	31	18
	参加者数 ※1(人)	805	600	800		参加者数 ※1(人)	805	600
登録医療機関数 (施設)		284	287	285	登録医療機関数(施 設)		284	285
退院支援計画件数 ※2(件)		187	187	210	退院支援計画件数 ※2(件)		187	200
※1 院外参加者数のみ				※1 院外参加者数のみ				
※2 退院支援計画書作成件数				※2 退院支援計画書作成件数				

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)			自己評価		市長の評価	
			ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
【実績値】						
指標		福岡市立こども病院				
		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値			
新規紹介患者数 (人)		8,805	8,397			
紹介率 (%)		91.1	92.6			
逆紹介率 (%)		63.1	66.6			
オープン カンファレ ンス	回数 (回)	19	33			
	参加者数 ※1 (人)	1,217	1,298			
登録医療機関数(施設)		289	290			
退院支援計画件数 ※2 (件)		189	190			
※1 院外参加者数のみ						
※2 退院支援計画書作成件数						
【自己評価の判断理由】						
○ 逆紹介率及び退院支援計画件数が目標値を若干下回ったが、コロナ禍においても、Webを活用したオープンカンファレンスや研修会等を通じて、地域の医療従事者への教育研修に積極的に取り組むとともに、地域の医療従事者及び市民への新型コロナワクチン接種対応を行うなど、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。						

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p> <p>① 地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院としての役割を踏まえ、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進する。また、地域の医療従事者への教育研修等を通じた地域医療への貢献に取り組む。</p> <p>② 福岡市立こども病院については、福岡県小児等在宅医療推進事業の拠点病院として、行政・医療・福祉・教育等の関係機関と連携を深め、小児在宅医療を担う在宅医や訪問看護ステーション等が拡充されるよう支援を行う等、引き続き地域における小児等医療提供ネットワーク構築に積極的に参加する。</p> <p>③ 福岡市民病院については、地域包括ケアシステムにおける中心的な役割を求められていることを踏まえ、回復期・慢性期病院や地域の在宅医療・介護を担う医療機関等との積極的な連携・支援に取り組むとともに、緊急時の円滑な入院受入れを行う。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 地域医療支援病院として、地域の医療機関に対し、ICTを活用した積極的な情報発信や、紹介患者の円滑な受入れなど、病病・病診連携を積極的に推進する。</p> <p>また、WEBを活用したオープンカンファレンスの開催など、より参加しやすい仕組みを構築した上で、地域の医療従事者への教育研修等を積極的に行い、地域医療への貢献に取り組む。</p> <p>③ 地域包括ケアシステムにおいて中心的な役割を果たすため、回復期・慢性期病院や地域の在宅医療・介護を担う医療機関等との積極的な連携・支援に取り組むとともに、緊急時の円滑な入院受入れを行う。</p> <p>また、入院が長期化するリスクのある患者が円滑に退院し、より最適な在宅療養に移行できるよう、認定看護師による退院前・退院後訪問指導等に積極的に取り組む。</p>

中期目標(内容)	地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進するとともに、地域包括ケアシステムの推進に取り組む上で求められる役割を果たすよう病院運営に取り組むこと。
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 令和2年度から取り組んでいるWebを活用したカンファレンス等の開催に加え、カンファレンスの模様を録画した動画や、当院の医師による治療内容の解説動画等を配信するメールマガジンサービスを開始した。配信希望の登録があった144件の医療機関等に対し、計4回の配信を行い、コロナ禍にあっても、情報発信とともに、地域の医療従事者への教育研修に積極的に取り組んだ。</p> <p>また、看護系大学への講師派遣や、福岡県看護協会に協力したコロナ対応における看護管理、未就職の看護師の復職研修事業での講演等を行ったほか、福岡市消防学校へ講師として医師を派遣するとともに、感染管理認定看護師教育課程の臨地実習を2人(延べ40人)、認定看護管理者サードレベル教育課程の管理実習を1人(延べ1人)受け入れるなど、地域の医療従事者の質向上に資する取組を行った。</p> <p>コロナ禍で制限はありながらも、新たに開業した医療機関を訪問し、当院の医療機能等の説明を行うなど、地域における病診連携の拡大に取り組んだ。</p> <p>2期目を迎える看護師の特定行為研修は、外部からの受講生として、地域の訪問看護ステーションの看護師を1人受け入れ、院内の受講生と合わせ4人で開講し、全員が無事に修了した。</p> <p>③ 地域包括ケアシステムにおいては、入院前からの外来・病棟・退院支援部門との多職種連携を図り、早期介入による在宅療養支援の充実に取り組むとともに、在宅医療・介護スタッフとの情報共有や在宅スタッフとの退院前カンファレンスを積極的に行うことで、在宅療養支援における質の向上を図った(退院前カンファレンス件数:3年度60件、2年度43件)。</p>	2	3	3	○ オープンカンファレンスの開催実績など目標値を下回る指標があるが、病診連携の充実に着実に取り組むことで紹介率や逆紹介率は目標値及び前年度実績を上回る実績をあげており、また、地域包括ケアシステム推進に向けても積極的に取り組むなど、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。

中期計画				年度計画				
【目標値】				【目標値】				
指 標		福岡市民病院			指 標		福岡市民病院	
		令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値			令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
新規紹介患者数 (人)		5,147	4,373	5,035	新規紹介患者数 (人)		5,147	4,729
紹介率 (%)		88.7	88.0	88.0	紹介率 (%)		88.7	88.0
逆紹介率 (%)		152.3	152.2	152.2	逆紹介率 (%)		152.3	152.2
オープン カンフ アレンス	回数 (回)	108	40	100	オープン カンフ アレンス	回数 (回)	108	50
	参加者数 ※1 (人)	880	100	1,000		参加者数 ※1 (人)	880	500
登録医療機関数 (施設)		273	273	275	登録医療機関数 (施設)		273	273
退院調整件数 ※ 2 (件)		1,109	1,046	1,181	退院調整件数 ※ 2 (件)		1,109	1,068
※1 院外参加者数のみ				※1 院外参加者数のみ				
※2 入退院支援加算1・介護支援連携指導料の合計件数				※2 入退院支援加算1・介護支援連携指導料の合計件数				

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)		自己評価		市長の評価																												
		ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																											
<p>また、医療ニーズの高い患者が在宅へ移行する際、安心して在宅での療養を継続できるよう支援することを目的として、皮膚・排泄ケア認定看護師によるストーマ患者への退院前訪問、褥瘡を有し気管切開している患者の在宅移行支援として退院後訪問をそれぞれ実施した。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規紹介患者数 (人)</td> <td>4,666</td> <td>4,370</td> </tr> <tr> <td>紹介率 (%)</td> <td>98.0</td> <td>95.9</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>156.2</td> <td>185.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オープン カンファレ ンス</td> <td>回数 (回)</td> <td>18</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>参加者数 ※1 (人)</td> <td>185</td> <td>431</td> </tr> <tr> <td>登録医療機関数 (施設)</td> <td>284</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>退院調整件数 ※2 (件)</td> <td>1,152</td> <td>1,063</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 院外参加者数のみ ※2 入退院支援加算1・介護支援連携指導料の合計件数</p> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 新規紹介患者数は、コロナに対応する病床確保期間が長期化した影響により目標値を下回った。また、目標値に対し90%以上の水準を維持した。また、オープンカンファレンスの回数及び参加者数は目標値を大きく下回ったものの、福岡県看護協会等に協力しての講師派遣や実習受入れ、特定行為研修の外部受講生受入れ等、地域の医療従事者への教育研修に積極的に取り組んだことから、自己評価は「3」とする。</p>		指標	福岡市民病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	新規紹介患者数 (人)	4,666	4,370	紹介率 (%)	98.0	95.9	逆紹介率 (%)	156.2	185.2	オープン カンファレ ンス	回数 (回)	18	41	参加者数 ※1 (人)	185	431	登録医療機関数 (施設)	284	289	退院調整件数 ※2 (件)	1,152	1,063				
指標	福岡市民病院																															
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値																														
新規紹介患者数 (人)	4,666	4,370																														
紹介率 (%)	98.0	95.9																														
逆紹介率 (%)	156.2	185.2																														
オープン カンファレ ンス	回数 (回)	18	41																													
	参加者数 ※1 (人)	185	431																													
登録医療機関数 (施設)	284	289																														
退院調整件数 ※2 (件)	1,152	1,063																														

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (3) 災害・感染症等への適切な対応</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(3) 災害・感染症等への適切な対応</p> <p>災害・感染症等の発生時やその他の緊急時においては、福岡市及び関係機関との連携の下、迅速かつ的確に対応し、市立病院としての役割を果たすとともに、他の自治体等において大規模な災害・感染症等が発生した場合は、患者受入れや医療従事者の派遣など、迅速かつ的確に医療救護活動や人的・物的支援に努める。</p> <p>また、防災マニュアルやBCP（事業継続計画）の定期的な見直しを行うとともに、訓練や備蓄等、災害対応に備えた万全な体制を維持する。</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>災害・感染症等の発生時やその他の緊急時においては、地域の関係機関等と連携を図り、必要な医療の継続及び医療救護活動等を行うなど、中核的な小児総合医療施設としての役割を果たす。</p>	<p>(3) 災害・感染症等への適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市立病院としての役割を果たすため、福岡市地域防災計画、各種感染症の対策行動計画を始め、院内のBCP（事業継続計画）等に基づく適切な対応が行えるよう体制を整えるとともに、院内防災マニュアルの周知や防災訓練の実施等を通じ、職員の防災意識を高める。 ○ 非常用発電設備及び備蓄物品等の点検を徹底し、災害発生時の万全な対応に備える。 <p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消防訓練や緊急時参集システムを活用した非常招集訓練及び大規模災害を想定した患者受入訓練を行うとともに、防災マニュアル及びBCP（事業継続計画）の定期的な見直しや非常用発電機、災害用備蓄品、手指消毒液・PPE（個人用防護具）等の備蓄品の点検を徹底し、大規模な災害・感染症等発生時の万全な対応に備える。 ○ 他の自治体において大規模災害が発生した場合は、全国の小児総合医療施設間で組織された「広域災害時の相互支援システム」における九州地区の幹事施設として、関係機関や被災した医療機関等との連携を図り、的確に医療救護活動の支援に努める。

中期目標(内容)	<p>災害・感染症等の発生時やその他の緊急時において、福岡市地域防災計画、各種感染症の対策行動計画等に基づき、市立病院として迅速かつ的確に対応すること。</p> <p>また、他の自治体において大規模な災害・感染症等が発生した場合は、関係機関や災害協定に基づく医療機関等との連携を図るなど、迅速かつ的確に医療救護活動や人的・物的支援に努めること。</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>高度医療を行う小児総合医療施設として、関係機関と連携を図りながら、必要な医療の継続のため医療資源を最大限活用するなど、役割に応じた適切な対応を図ること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価									
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど								
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>○ 災害発生に備え、消防計画に基づく防災訓練を2回(2年度2回)実施し、職員の防災意識及び対応力を高めるとともに、半年毎に非常用発電機の定期点検を行い、万全な対応に備えた。</p> <p>○ 大規模災害発生時の職員の安否確認及び事業継続に必要な人員の把握を目的として、緊急時参集システムを使用した災害時参集訓練を3回開催するとともに、大規模災害発生直後の初動訓練として、災害対策本部の立ち上げや施設の被害状況の確認及びクロノロジー(時系列記録)作成等のシミュレーションを実施し、職員の災害時初動対応力の向上を図った。</p> <p>また、N95マスク等のPPE(個人用防護具)や消毒液等について、国や県と備蓄在庫の情報を共有し、必要在庫の確保に努めた。</p> <p>● コロナの感染拡大に際しては、院内のCOVID-19対策本部を中心に、感染防止対策を講じるとともに、プレハブ簡易診察室(4室)の設置による感染症外来機能の拡充やオミクロン株の感染流行を踏まえたコロナ病床の追加確保(11床→21床)を行うなど、コロナ患者(疑似症患者含む)の受入体制を整備した。</p> <p>・疑似症含む患者受入状況(単位:人)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border: none;">外来対応数</td> <td style="border: none;">入院患者数</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td style="border: none;">PCR検査数</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2,423</td> <td style="border: none;">2,303</td> </tr> </table> </td> <td style="border: none;">121</td> </tr> </table> <p>● 「新型コロナワクチン連携型接種施設」として、地域の医療従事者へのワクチン接種を実施(延べ206人)するとともに、集団接種会場へ職員(医師:延べ170人、看護師:延べ77人、薬剤師:延べ48人)を派遣した。(再掲)</p> <p>○ 全国の小児総合医療施設間で組織された「広域災害時の相互支援システム」における九州地区の幹事施設として、有事の際には、</p>	外来対応数	入院患者数	<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td style="border: none;">PCR検査数</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2,423</td> <td style="border: none;">2,303</td> </tr> </table>	PCR検査数		2,423	2,303	121	2	4	4	<p>○ コロナへの対応については、ワクチン接種も含め、着実に取組を進めている。また、災害発生を想定した対応については、訓練や防災設備・備蓄物品の点検などを的確に実施している。</p> <p>○ コロナへの対応については、病床の追加確保などにより入院・外来ともに体制を強化するなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>
外来対応数	入院患者数											
<table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td style="border: none;">PCR検査数</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">2,423</td> <td style="border: none;">2,303</td> </tr> </table>	PCR検査数		2,423	2,303	121							
PCR検査数												
2,423	2,303											

中期計画				年度計画																							
<p>【目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和2年度 見込値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訓練開催数 (回)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>災害時参集訓練 参加率 (%)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>				指標	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値	訓練開催数 (回)	3	4	5	災害時参集訓練 参加率 (%)	—	—	90	<p>【目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和3年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訓練開催数 (回)</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>災害時参集訓練参 加率 (%)</td> <td>—</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>			指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値	訓練開催数 (回)	3	5	災害時参集訓練参 加率 (%)	—	90
指標	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値																								
訓練開催数 (回)	3	4	5																								
災害時参集訓練 参加率 (%)	—	—	90																								
指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値																									
訓練開催数 (回)	3	5																									
災害時参集訓練参 加率 (%)	—	90																									

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価										
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど									
<p>的確に医療救護活動の支援ができるよう院内の体制を整えるとともに、全国自治体病院協議会が設立した「災害時医療機関相互支援ネットワーク」に参加し、災害発生時における会員施設間の相互支援体制を整えた。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訓練開催数（回）</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>災害時参集訓練参加率（％）</td> <td>—</td> <td>92.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 大規模災害発生に備えた初動訓練の実施や設備の点検、PPE（個人用防護具）等の必要物品の確保等、事業を継続するために必要な取組を確実に行った。</p> <p>また、院内のCOVID-19対策本部を中心とした感染防止対策の実施、感染症外来機能の拡充やコロナ病床の追加確保等、コロナ患者の受入体制を整備し、患者を受け入れるとともに、地域の医療従事者及び市民への新型コロナワクチン接種対応を行うなど、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。</p>	指標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	訓練開催数（回）	4	6	災害時参集訓練参加率（％）	—	92.1				
指標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値											
訓練開催数（回）	4	6											
災害時参集訓練参加率（％）	—	92.1											

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (3) 災害・感染症等への適切な対応</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(3) 災害・感染症等への適切な対応</p> <p>災害・感染症等の発生時やその他の緊急時においては、福岡市及び関係機関との連携の下、迅速かつ的確に対応し、市立病院としての役割を果たすとともに、他の自治体等において大規模な災害・感染症等が発生した場合は、患者受入れや医療従事者の派遣など、迅速かつ的確に医療救護活動や人的・物的支援に努める。</p> <p>また、防災マニュアルやBCP（事業継続計画）の定期的な見直しを行うとともに、訓練や備蓄等、災害対応に備えた万全な体制を維持する。</p> <p>イ 福岡市民病院</p> <p>災害発生時やその他の緊急時においては、必要な医療の継続及び救護活動を実施するとともに、感染症発生時においては、感染症指定医療機関として、他の医療機関等との連携を図りながら、福岡市における対策の先導的かつ中核的な役割を果たす。</p>	<p>(3) 災害・感染症等への適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市立病院としての役割を果たすため、福岡市地域防災計画、各種感染症の対策行動計画を始め、院内のBCP（事業継続計画）等に基づく適切な対応が行えるよう体制を整えるとともに、院内防災マニュアルの周知や防災訓練の実施等を通じ、職員の防災意識を高める。 ○ 非常用発電設備及び備蓄物品等の点検を徹底し、災害発生時の万全な対応に備える。 <p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 他の自治体において大規模災害が発生した場合は、関係機関や被災した医療機関等との連携を図るなど、的確に医療救護活動の支援に努める。 ○ 新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き重点医療機関として、第3波以降の感染拡大時の対応や、ワクチン接種等の事態収束に向けた取組への積極的な協力など、福岡市の中核的な役割を果たす。 ○ 今後の新興感染症発生時においては、感染症指定医療機関として、他の医療機関等との連携を図りながら、一早く体制を整備し福岡市における対策の先導的かつ中核的な役割を果たす。

中期目標(内容)	<p>災害・感染症等の発生時やその他の緊急時において、福岡市地域防災計画、各種感染症の対策行動計画等に基づき、市立病院として迅速かつ的確に対応すること。</p> <p>また、他の自治体において大規模な災害・感染症等が発生した場合は、関係機関や災害協定に基づく医療機関等との連携を図るなど、迅速かつ的確に医療救護活動や人的・物的支援に努めること。</p> <p>イ 福岡市民病院 高度専門医療を担う地域の中核病院としての機能を維持するとともに、高度救急医療の更なる充実を図ること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市立病院としての役割を果たすため、災害発生に備え、緊急時参集システムを使用した災害時参集訓練を3回実施し、職員の防災意識及び対応力を高めるとともに、非常用発電設備及び備蓄物品の点検等を徹底した。 ○ コロナ対応2年目となり、相次ぐ変異株の出現や、急激に増加する感染者数等予測不能な感染状況の変化に対しても、昨年度来、営々と構築してきた院内体制と、公立病院としての職員の強い使命感により、動じることなく対応を行った。 <p>令和3年4月から6月にかけての第4波では、変異ウイルスによる重症化リスクを反映し、同年5月には1日当たり入院患者数が過去最高の38人(コロナ即応病床利用率102.7%)となるなど、患者急増に伴う職員の負担も日々増大していったが、これまでの経験とノウハウを活かし、感染対策を徹底しながら粛々と対応を行った。</p> <p>令和3年7月から9月にかけての第5波では、デルタ株の猛威により感染者数は急激に増加した。ピークを迎える同年9月初旬の入院患者数は30人前後で推移し、中等症以上の患者を中心として受入れを行った。</p> <p>第5波収束後の令和3年12月には福岡県がフェーズ1に移行したことに伴い、当院でも即応病床43床から21床体制に移行したが、令和4年1月から3月にかけての第6波では、オミクロン株の影響により、当初は個室管理を要することから、福岡県のフェーズ移行に先駆けて院内フェーズを引き上げ、即応病床43床体制とした。</p> <p>コロナ対策本部での毎朝・夕の情報共有、週1回の実務者会議における課題と対策の検討及び共有を継続して行ったほか、学術的見地からコロナに対する知見を高めるため、関係者による勉強会を週1回継続して行った。</p>	2	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年に引き続き、多くのコロナ即応病床を確保し対応した。また、災害訓練や防災設備・備蓄物品の点検などにも取り組んだ。災害時参集訓練は、コロナ対応などによる繁閑に応じ、消防当局に相談しながら柔軟に取り組んでいる。 ○ コロナ対応については、施設・設備の整備を進めるなど医療機能の充実を図ったほか、JMAT(日本医師会災害医療チーム)活動への協力としてコロナ療養ホテルへの医師等の派遣、市が実施する深夜帯のワクチン接種や転院支援調整事業への積極的な協力等、市立病院としての役割を果たしたことを積極的に評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。

中期計画	年度計画

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価							
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど						
<p>また、コロナ専用病床に転換しているCCU（冠動脈疾患集中治療室）内で新たに透析を可能とする工事の実施、福岡県の要請に応じた即応病床数の増床（37床→40床→43床）、コロナ専用病床に転換している一般病棟への新たな簡易陰圧装置の設置（3台）等、更なる対応力と感染対策の強化に取り組んだ。</p> <p>また、JMAT（日本医師会災害医療チーム）活動に協力し、コロナ感染者が療養するホテルでの対応要員として医師を延べ55人派遣した。</p> <p>さらに、第6波の感染者急増に対し、福岡市が令和4年2月11日から3月14日まで設置した「福岡市転院支援調整本部」に協力し、当院の医師が調整本部において、重点医療機関等から後方支援医療機関への転院調整に従事した。</p> <p>なお、令和2年度に引き続き、厳密な感染管理と職員の適切な感染防御を徹底して院内感染を起こさずにコロナ対応を行ってきたが、令和3年9月に初めてとなる院内クラスターが発生した。直ちに入院制限、職員や入院患者への検査等を実施するなど迅速な対応を行い、重症化することなく、また感染を拡大させることなく、短期間（16日間）で入院制限を解除することができた。</p> <p>新型コロナワクチン接種に当たっては、基本型接種施設として、地域の医療従事者向けのワクチン接種を実施し、1回目を524人、2回目を514人に対して施行するとともに、福岡市に協力し、24時間接種体制構築に向けて令和3年7月から10月にかけて、深夜帯（22時から翌8時まで）の接種会場として施設設備を提供した。また、多数の職員（医師：延べ103人、看護師：延べ182人、その他：延べ103人）が深夜接種に任意で協力し、延べ10,165人の市民に対してワクチン接種を行った。加えて、集団接種会場へ職員（医師：延べ11人、看護師：延べ117人、薬剤師：延べ87人）を派遣した。</p> <p>・疑似症含む患者受入状況（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>外来対応数</th> <th>PCR検査数</th> <th>入院患者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,374</td> <td>1,341</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>	外来対応数	PCR検査数	入院患者数	1,374	1,341	500				
外来対応数	PCR検査数	入院患者数								
1,374	1,341	500								

中期計画				年度計画		
【目標値】				【目標値】		
指標	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値	指標	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
訓練開催数 (回)	6	4	6	訓練開催数(回)	6	5
災害時参集訓練 参加率(%)	—	—	90	災害時参集訓練参 加率(%)	—	90

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)			自己評価		市長の評価										
			ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど									
【実績値】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">指標</th> <th style="width: 35%;">令和2年度 実績値</th> <th style="width: 35%;">令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訓練開催数 (回)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>災害時参集訓練 参加率 (%)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">96.0</td> </tr> </tbody> </table>			指標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	訓練開催数 (回)	3	3	災害時参集訓練 参加率 (%)	—	96.0				
指標	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値													
訓練開催数 (回)	3	3													
災害時参集訓練 参加率 (%)	—	96.0													
【自己評価の判断理由】 ○ 目標値については、コロナの影響により予定していた訓練を行うことができず、訓練開催数が下回ったが、コロナ対応については、相次ぐ変異株の出現や、急激に増加する感染者数等予測不能な感染状況の変化に対しても、全職員が一丸となり、勉強会の開催や即応病床の増床、設備機器の拡充等、更なる対応力や感染対策の強化に取り組むとともに、福岡市転院支援調整本部や24時間ワクチン接種事業等に積極的に協力するなど、福岡市におけるコロナ対策の中核的役割を担ったことから、自己評価は「4」とする。															

中期目標(項目)	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 患者サービス (1) 患者サービスの向上
----------	--

中期計画	年度計画																			
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 2 患者サービス (1) 患者サービスの向上 ① 患者満足度調査等を実施し、患者及び家族の多様なニーズを的確に捉えた上で、ボランティアなどとの連携を図るとともに、ICT（情報通信技術）の積極的な活用等により、効率的かつ効果的な患者サービスの向上を図る。 ② 患者やその家族が安心して医療を享受できるよう、社会的、経済的悩みや不安等に適切に対応する。 ③ 院内環境の整備を進め、より快適な療養環境を提供する。	2 患者サービス (1) 患者サービスの向上 ア 福岡市立こども病院 ① 退院時アンケート等やホームページによる患者・家族からの意見等を踏まえ、ボランティアとの共働を推進するとともに、ICT（情報通信技術）の活用により外来予約システムの機能を拡大する等、患者及び家族の利便性の向上を図る。 ② 患者家族の医療等の相談について、相談支援窓口において適切に対応する。 ③ 院内の接遇・療養環境委員会を中心に、関係部署とも協議しながら、院内環境を整備するとともに、福岡市が推進する「一人一花運動」の趣旨に沿って、花壇等の管理を適切に行い、患者・家族の療養環境改善を図る。																			
【目標値】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="3">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和2年度 見込値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時アンケートの平均評価点数(100点満点)</td> <td style="text-align: center;">89.0</td> <td style="text-align: center;">89.0</td> <td style="text-align: center;">89.0</td> </tr> </tbody> </table> ※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇、療養環境、食事内容等	指標	福岡市立こども病院			令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値	退院時アンケートの平均評価点数(100点満点)	89.0	89.0	89.0	【目標値】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和3年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時アンケートの平均評価点数(100点満点)</td> <td style="text-align: center;">89.0</td> <td style="text-align: center;">89.0</td> </tr> </tbody> </table> ※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇、療養環境、食事内容等	指標	福岡市立こども病院		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値	退院時アンケートの平均評価点数(100点満点)	89.0	89.0
指標		福岡市立こども病院																		
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値																	
退院時アンケートの平均評価点数(100点満点)	89.0	89.0	89.0																	
指標	福岡市立こども病院																			
	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値																		
退院時アンケートの平均評価点数(100点満点)	89.0	89.0																		

中期目標(内容)	<p>選ばれる病院であり続けるため、ICT（情報通信技術）の積極的な活用などにより、効率的かつ効果的なサービスの展開に努めるほか、ボランティア等との連携を図ることにより、多様な市民・患者一人ひとりの視点に立った患者サービスの向上に努めること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価									
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど								
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① コロナの感染防止のため、院内でのボランティア活動はできなかったが、ふくおかハウス及びマリンワールドと共同で「リモート水族館」を開催するなど、可能な限り患者及び患者家族へのサービスの向上に努めた。</p> <p>令和2年度にLINE Fukuoka株式会社と協働で開始した、福岡市立こども病院のLINE公式アカウント上から再診予約・予約変更を受け付ける実証実験を引き続き実施するとともに、令和3年12月には患者家族からのニーズが高かった初診受付・予約照会機能を追加し、患者及び患者家族の利便性の更なる向上を図った（令和4年3月末時点 LINE登録者数16,535人）。</p> <p>また、国が推進するマイナンバーカードを健康保険証として利用できる「オンライン資格確認システム」を導入し、令和3年10月から運用を開始した。</p> <p>② 医療・福祉・療育に関する相談や在宅療養生活への支援、転医・転院等に関する相談について、相談支援窓口において適宜適切な対応を行った。</p> <p>③ 退院時アンケートによる意見等を踏まえ、病棟の無料Wi-Fiを増設するなど、対応可能な案件について迅速に対処するとともに、福岡市が推進する「一人一花運動」の趣旨に沿って、1年を通じて花が咲くよう季節ごとに花の植替えを行うなど、患者や患者家族へのサービスの向上及び療養環境改善を図った。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)</td> <td>89.2</td> <td>89.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇、療養環境、食事内容等</p>	指標	福岡市立こども病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	89.2	89.8	2	3	3	<p>○ 指標は目標値を上回っており、また、LINEアカウントを利用した予約受付の取組も拡充を図るなど、患者家族等の利便性向上に取り組んでおり、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>
指標		福岡市立こども病院										
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値										
退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	89.2	89.8										

中期計画	年度計画

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ ICT（情報通信技術）を活用した外来予約システムの機能拡充により、患者家族の利便性の更なる向上を図るとともに、退院時アンケート等の意見を踏まえ院内環境を整備するなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。</p>				

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>2 患者サービス (1) 患者サービスの向上</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置</p> <p>2 患者サービス</p> <p>(1) 患者サービスの向上</p> <p>① 患者満足度調査等を実施し、患者及び家族の多様なニーズを的確に捉えた上で、ボランティアなどとの連携を図るとともに、ICT（情報通信技術）の積極的な活用等により、効率的かつ効果的な患者サービスの向上を図る。</p> <p>② 患者やその家族が安心して医療を享受できるよう、社会的、経済的悩みや不安等に適切に対応する。</p> <p>③ 院内環境の整備を進め、より快適な療養環境を提供する。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 職員の接遇及び療養環境等に関する患者満足度調査や外来待ち時間調査等を引き続き行い、患者のニーズを的確に把握して改善を図るとともに、ICT（情報通信技術）の積極的な活用について検討する。</p> <p>② 患者またはその家族等からの医療・福祉に関する相談などについて、患者サポート相談窓口を中心に適切に対応する。</p> <p>③ トイレ等の水回り衛生設備の段階的な改修を行うなど、療養環境の整備に努めるとともに、高齢の方々及び単身の方々の入院生活のサポートとして、入院時に必要となる衣類・タオル類・日用品・紙おむつ類等の日額定額のレンタルサービスの導入を検討する。</p>

中期目標(内容)	<p>選ばれる病院であり続けるため、ICT（情報通信技術）の積極的な活用などにより、効率的かつ効果的なサービスの展開に努めるほか、ボランティア等との連携を図ることにより、多様な市民・患者一人ひとりの視点に立った患者サービスの向上に努めること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 患者満足度調査を毎月実施し、患者のニーズを把握するとともに、職員の接遇に関する指摘等に対しては当該職員にフィードバックして指導を行うなど、改善を図った。</p> <p>コロナ禍で面会を禁止している状況を踏まえ、希望者にはオンラインでの面会が可能となるよう、専用のタブレットを導入するとともに、コロナで入院する外国人への対応を強化するため、感染症病棟に専用の携帯型翻訳機を導入した。また、感染対策の強化と患者の利便性向上、職員の負担軽減に資することを目的として、総合案内へのロボット導入について試行を実施し、令和4年度の導入に向けた準備を進めた。</p> <p>国が推進するマイナンバーカードを健康保険証として利用できる「オンライン資格確認システム」を導入し、令和3年10月から運用を開始した。</p> <p>② 患者又はその家族等からの医療・福祉に関する相談等について、患者サポート相談窓口を中心に、2,305件の相談を受け付けるなど適切に対応した。</p> <p>③ 水回り（トイレ等）の改修工事に向けた準備を進めるとともに（工事は令和4年度実施予定）、単身者や高齢者等の入院時の負担軽減と、コロナ禍で面会を禁止している状況を踏まえた患者家族の負担軽減を目的として、病衣及び日用品の日額定額制によるレンタルサービスを導入した。</p> <p>また、患者サービスの向上のため、外来エリアの照明のLED化、外来フロアのカーペットの全面貼替えなど、院内環境を整備した。</p>	2	3	3	<p>○ 指標は目標値を上回っており、また、オンライン面会や病衣等のレンタルサービスの導入や翻訳機器の導入による外国人への対応の強化など、患者サービスの向上に取り組んでおり、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画				年度計画		
【目標値】				【目標値】		
指標	福岡市民病院			指標	福岡市民病院	
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
患者満足度調査に おける平均評価点 数（100点満点）	89.6	89.8	89.8	患者満足度調査に おける平均評価点 数（100点満点）	89.6	89.8
※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇、療養環境、食事内容、診療内容等				※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇、療養環境、食事内容、診療内容等		

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価									
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど								
<p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査に おける平均評価点 数（100点満点）</td> <td>90.3</td> <td>90.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇、療養環境、食事内容、診 療内容等</p> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ CS委員会や患者サポート窓口を中心とし た積極的な取組により、患者満足度が目標値 を上回るとともに、ICT（情報通信技術） を活用した患者サービス向上の取組のほか、 患者の利便性向上に向けた日用品等のレンタ ルサービスの開始など、年度計画に沿った取 組を行ったことから、自己評価は「3」とす る。</p>	指標	福岡市民病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	患者満足度調査に おける平均評価点 数（100点満点）	90.3	90.1				
指標		福岡市民病院										
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値										
患者満足度調査に おける平均評価点 数（100点満点）	90.3	90.1										

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>2 患者サービス (2) 情報発信</p>
----------	--

中期計画	年度計画																										
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置</p> <p>2 患者サービス</p> <p>(2) 情報発信</p> <p>ホームページ等の様々な媒体を活用して、病院の持つ機能や治療実績等、積極的な情報発信に取り組むとともに、安心して受診できるように、市民に開かれた病院づくりに努める。</p>	<p>(2) 情報発信</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 診療内容、医療サービスや、「病院指標(独自指標を含む)」に示される治療実績などについて、広報誌やホームページ等を活用してわかりやすい情報発信に取り組み、患者が安心して受診できるよう、市民に開かれた病院づくりに努める。 ○ ホームページのコンテンツの工夫やSNSを活用した積極的な情報発信に取り組むとともに、地域の子育て世代や、元気な高齢者を対象に、多世代の交流や医療を通じて子育て・孫育てを実現することを目的に、CGG(Child Grandchild Good-Care)プログラムを引き続き実施する。 																										
<p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="3">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和2年度 見込値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院ホームページのアクセス数(件)</td> <td style="text-align: center;">377,866</td> <td style="text-align: center;">400,000</td> <td style="text-align: center;">400,000</td> </tr> <tr> <td>広報誌発行回数(回)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	福岡市立こども病院			令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値	病院ホームページのアクセス数(件)	377,866	400,000	400,000	広報誌発行回数(回)	3	4	4	<p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和3年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院ホームページのアクセス数(件)</td> <td style="text-align: center;">377,866</td> <td style="text-align: center;">390,000</td> </tr> <tr> <td>広報誌発行回数(回)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	福岡市立こども病院		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値	病院ホームページのアクセス数(件)	377,866	390,000	広報誌発行回数(回)	3	4
指 標		福岡市立こども病院																									
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値																								
病院ホームページのアクセス数(件)	377,866	400,000	400,000																								
広報誌発行回数(回)	3	4	4																								
指 標	福岡市立こども病院																										
	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値																									
病院ホームページのアクセス数(件)	377,866	390,000																									
広報誌発行回数(回)	3	4																									

中期目標(内容)	ホームページや広報誌等により、病院の役割や医療内容等を積極的に情報発信するなど、市民・患者に開かれた病院づくりに努めること。
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価												
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど											
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登録医宛にニュースレターを送付し、当院の取組や研修会等の案内を行うとともに、「病院指標」をホームページに公開し、一般の人にも分かりやすい解説を行った。 また、患者用クリニカルパスの更なる充実を図り、当該クリニカルパスの公開による治療内容の可視化を実施した（公開パス数：3年度15疾患、2年度14疾患）。 ● 患者・患者家族及び医療関係者等にとって見やすく、情報が探しやすいホームページとなるよう、広報委員会を中心にホームページの全面的なリニューアルに向けた準備を行った（令和4年4月公開）。 ○ SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用した院内イベント及びコロナへの対応等の情報発信に積極的に取り組んだ。 また、地域住民を対象に、育児への関心を高めるための取組として、コロナ対策を講じた上で、地元の公民館と共同で、「こども病院生涯学習講座CGG（Child Grandchild Good-Care）プログラム」を令和3年7月に開催した（テーマ「こどもの栄養と食事～食選力を育もう」、参加者20人。令和4年2月は、コロナの感染拡大防止のため中止（2年度1回開催、参加者18人））。 <p>【実績値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院ホームページのアクセス数(件)</td> <td style="text-align: center;">407,402</td> <td style="text-align: center;">395,980</td> </tr> <tr> <td>広報誌発行回数(回)</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	病院ホームページのアクセス数(件)	407,402	395,980	広報誌発行回数(回)	5	4	1	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指標は目標値を上回っており、また、ホームページでの「病院指標」や患者用クリニカルパス等の公開、SNSでの情報提供等、積極的な情報発信に取り組んでおり、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
指標		福岡市立こども病院													
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値													
病院ホームページのアクセス数(件)	407,402	395,980													
広報誌発行回数(回)	5	4													

中期計画	年度計画

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ ホームページや広報誌等を活用した情報発信を継続するとともに、コロナ禍においても、感染対策を講じた上で、地域住民と直接触れ合う講座を継続して開催するなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。</p>				

中期目標(項目)	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 2 患者サービス (2) 情報発信
----------	---

中期計画	年度計画																										
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 患者サービス</p> <p>(2) 情報発信</p> <p>ホームページ等の様々な媒体を活用して、病院の持つ機能や治療実績等、積極的な情報発信に取り組むとともに、安心して受診できるように、市民に開かれた病院づくりに努める。</p> <p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th colspan="3">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和2年度 見込値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院ホームページのアクセス数(件)</td> <td style="text-align: center;">180,889</td> <td style="text-align: center;">191,138</td> <td style="text-align: center;">192,500</td> </tr> <tr> <td>広報誌発行回数(回)</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	福岡市民病院			令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値	病院ホームページのアクセス数(件)	180,889	191,138	192,500	広報誌発行回数(回)	4	3	4	<p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページの全面リニューアルや医療機関向け広報ツールの作成など、積極的な情報発信に取り組み、市民に開かれた病院づくりに努める。 ○ 地域住民の健康意識の底上げを行うため、ICTを活用した市民向け出前講座を企業向けに実施するなど、幅広い年代層に向けて情報発信していく。 <p>【目標値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和3年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院ホームページのアクセス数(件)</td> <td style="text-align: center;">180,889</td> <td style="text-align: center;">191,000</td> </tr> <tr> <td>広報誌発行回数(回)</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値	病院ホームページのアクセス数(件)	180,889	191,000	広報誌発行回数(回)	4	4
指 標		福岡市民病院																									
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値																								
病院ホームページのアクセス数(件)	180,889	191,138	192,500																								
広報誌発行回数(回)	4	3	4																								
指標	福岡市民病院																										
	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値																									
病院ホームページのアクセス数(件)	180,889	191,000																									
広報誌発行回数(回)	4	4																									

中期目標(内容)	ホームページや広報誌等により、病院の役割や医療内容等を積極的に情報発信するなど、市民・患者に開かれた病院づくりに努めること。
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価												
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど											
<p>イ 福岡市民病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年4回発行している広報誌「FCH」について、開業医・医療機関を対象とした内容に特化してリニューアルし、医療従事者向けの情報発信を強化するとともに、市民に開かれた病院づくりの一環として、ホームページの全面リニューアルに向けた準備を進めた（令和4年4月公開）。 ○ 地域住民の健康意識の向上と、地域に根差した情報発信を目的とした出前講座について、コロナ禍で制限はありながらも9施設で実施した（参加者延べ176人）。 また、福岡県看護協会の事業「看護の出前授業」に協力し、看護師長が「看護の仕事、看護職への道」について、中学校での講演を実施した。 ● 令和2年から始まる当院の約2年間にわたるコロナ対応について、診療実績や病院全体の取組、各部署の対応、研究発表やマニュアル等の記録を整理した「福岡市民病院 COVID-19記録集 波濤を越えて」を刊行し、関係機関等に配布した。 <p>【実績値】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">指標</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">令和2年度 実績値</th> <th style="text-align: center;">令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">病院ホームページのアクセス数(件)</td> <td style="text-align: center;">175,731</td> <td style="text-align: center;">188,774</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">広報誌発行回数(回)</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	病院ホームページのアクセス数(件)	175,731	188,774	広報誌発行回数(回)	3	4	1	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページや広報誌を活用した広報に取り組み、また、出前講座についても着実に実施している。 ○ 地域住民や中学校など幅広く情報発信に取り組んでおり、また、コロナ対応による知見を記録集の形で整理し、他の医療機関を始め幅広く周知を行うなど、市民・患者に開かれた病院づくりに積極的に取り組んでいることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。
指標		福岡市民病院													
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値													
病院ホームページのアクセス数(件)	175,731	188,774													
広報誌発行回数(回)	3	4													

中期計画	年度計画

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 目標値については、病院ホームページのアクセス数が若干下回ったものの、ホームページの全面リニューアルに向けた準備を進めるとともに、広報誌のリニューアルを行い、感染対策を講じたうえで、地域住民の健康増進のための講座を開催するなど、年度計画を着実に実施した。</p> <p>さらに、約2年間におよぶ当院のコロナ対応に関する活動をまとめて記録集として発刊し、関係機関へ配布するなど、情報発信の強化に取り組んだことから、自己評価は「4」とする。</p>				

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修</p> <p>① 収支への影響も踏まえながら、中長期的な医療環境の変化等を見据え、優れた知識と専門性を有する人材の計画的な確保に努める。</p> <p>② 院内研修の充実や外部の専門研修等を活用し、職員の資質向上を図る。</p> <p>③ 積極的に職員に資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。また、資格取得を支援する制度の充実に努める。</p>	<p>3 医療の質の向上</p> <p>(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症による収支への影響も踏まえながら、適正な人員配置ならびに優れた知識と専門性を有する人材の計画的な確保に努める。</p> <p>意欲ある研修医等の確保を目的として、ソーシャルネットワークサービスを活用し、カンファレンスや研修会、教育プログラム等の情報発信に努める。</p> <p>看護師については、意欲ある人材を確保するため、ICTを活用したオンライン就職説明会等を行うとともに、専従教育担当職員による看護職員等への研修を重点的に実施するなど、職員の資質向上に努める。</p> <p>② 新規採用職員を対象とした情報セキュリティ・人権・接遇などの研修を行うとともに、全職員を対象に医療の質向上に資する研修を行うほか、WEB研修を積極的に活用するなど内容の充実を図り、受講促進に努め、職員の資質向上を図る。</p> <p>③ 専門性や能力の向上を図るため、認定看護師等資格取得支援制度の活用を促し、有資格者の拡大に努める。</p>

中期目標(内容)	<p>医療水準を向上させるため、医療環境の変化を見据え、中長期的な観点から、優れた知識と専門性を有する人材の確保に努めること。</p> <p>また、研修体制の充実などにより、スタッフの専門性や医療技術の向上を図ること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 看護系大学等の実習生や大学院（小児専門看護師教育課程）の実習生を受け入れるとともに、「インターンシップ・病院説明会」をWebで3回開催し、延べ124人（2年度2回開催、延べ60人参加）の参加を得るなど、意欲ある人材の確保に努めた。</p> <p>また、専従の教育担当職員が中心となり、新人看護職員及び新任期看護職員等を対象とした研修を計画的に開催し、看護職員の資質向上に努めるとともに、他施設に従事する新人看護職員を対象にした小児看護研修をWebで2回開催し、延べ132人（2年度2回開催、延べ150人）の参加を得るなど、小児専門病院としての役割遂行に努めた。</p> <p>初期研修医や医学部学生を対象とした「Fukoka CHOPPS (Children's Hospital Practical Pediatric Seminar)」をWebで3回開催（延べ84人参加）し、意欲ある研修医等の確保に努めた（2年度1回開催、38人参加）。</p> <p>② 新規採用職員や新任期看護職員を対象とした情報セキュリティ・倫理・接遇等の研修を行うとともに、医療の質向上に資する研修として、患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者家族と良好な関係を築き円滑な診療を進められるよう、全職員を対象とした接遇研修を行った。</p> <p>また、Web研修を積極的に活用するなど内容の充実を図り、受講促進に努め、職員の資質向上を図った。</p> <p>③ 専門職としての知識・技術の向上を図るため、認定看護師等資格取得支援制度の活用を促し、令和4年度認定看護管理者教育課程の受講（1人）が決定するなど、有資格者の拡大に努めた。</p>	2	3	3	<p>○ 指標は目標値を上回っており、また、Webを活用した説明会等による意欲ある人材の確保や、計画的な研修の実施、認定看護師等資格取得者の拡大等、人材育成に積極的に取り組んでおり、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画				年度計画																					
<p>【目標値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="3">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和2年度 見込値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療の質向上 研修受講率</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>				指標	福岡市立こども病院			令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値	医療の質向上 研修受講率	—	—	90	<p>【目標値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和3年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療の質向上 研修受講率</td> <td>—</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>			指標	福岡市立こども病院		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値	医療の質向上 研修受講率	—	90
指標	福岡市立こども病院																								
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値																						
医療の質向上 研修受講率	—	—	90																						
指標	福岡市立こども病院																								
	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値																							
医療の質向上 研修受講率	—	90																							

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価									
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど								
<p>【当該支援制度による資格取得者】 認定看護師（5分野）6人 認定看護管理者ファーストレベル 3人 セカンドレベル 4人 サードレベル 3人 （令和4年3月末現在）</p> <p>【実績値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療の質向上 研修受講率</td> <td>—</td> <td>92.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【自己評価の判断理由】 ○ We bを活用した意欲ある人材確保に向けた取組の実施、新人看護職員等への計画的な研修の実施、認定看護師等資格取得支援制度を活用した有資格者の拡大等、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。</p>	指標	福岡市立こども病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	医療の質向上 研修受講率	—	92.7				
指標		福岡市立こども病院										
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値										
医療の質向上 研修受講率	—	92.7										

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修</p> <p>① 収支への影響も踏まえながら、中長期的な医療環境の変化等を見据え、優れた知識と専門性を有する人材の計画的な確保に努める。</p> <p>② 院内研修の充実や外部の専門研修等を活用し、職員の資質向上を図る。</p> <p>③ 積極的に職員に資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。また、資格取得を支援する制度の充実に努める。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 医師、看護師を始め職種毎に、医業収益に見合った定数管理を確実に実行することで、職員の適正数の確保に努める。</p> <p style="padding-left: 2em;">ICTの活用等による業務の効率化を推進するなど、ワーク・ライフ・バランスの推進に継続的に取り組み、年休の取得率向上や時間外勤務の縮減に努め、職員が働きやすい職場環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める</p> <p>② 新規採用職員を対象とした情報セキュリティや人権、接遇研修のほか、全職員を対象とした医療の質向上に資する研修等を実施するなど、院内研修の充実を図るとともに、外部の専門研修等も活用しながら職員の資質向上を図る。</p> <p>③ 看護部においては、認定看護師等資格取得支援制度を活用した積極的な資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。</p> <p style="padding-left: 2em;">また、看護部以外の部門においても、専門職としての知識・技術の向上を図るため、資格取得支援制度の充実に努める。</p>

中期目標(内容)	<p>医療水準を向上させるため、医療環境の変化を見据え、中長期的な観点から、優れた知識と専門性を有する人材の確保に努めること。</p> <p>また、研修体制の充実などにより、スタッフの専門性や医療技術の向上を図ること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 看護師について7対1看護基準を維持しながら、コロナ即応病床の増床(37床→40床→43床)や、コロナ対応への応援のために稼働が逼迫する一般病棟等へのマンパワー確保のため、派遣会社を活用して看護師を確保するなど、看護職員の負担軽減を図るとともに、職員の育児休業等による欠員に対して、代替職員の配置を適宜行うなど職種ごとの定数管理を確実に行った。</p> <p>また、意欲ある人材を確保するため、感染予防対策を十分に行った上で、看護学校実習生を267人(延べ1,354人)受け入れた。</p> <p>医師事務作業補助者の活用や特定行為看護師の育成(3人)等により医師の働き方改革を進めるとともに、院内のワーク・ライフ・バランス推進委員会において、引き続き、年次有給休暇の取得率向上に向けた周知活動に取り組むなど、職員が長く働き続けられる職場環境づくりを推進した(看護職員離職率:3年度7.6%、2年度5.3%)。</p> <p>② 感染予防対策を十分に行った上での集合研修や、オンラインイベントシステムを活用したWeb研修や勉強会等を院内で適宜開催するとともに、職員へ外部研修の積極的な参加を促進するなど、職員の資質向上に取り組んだ。</p> <p>③ 専門職としての知識や技術の向上を図るため、認定看護師等資格取得支援制度を活用するとともに、職務に必要な資格取得や研修受講等を積極的に促進した。当院で開講する特定行為研修についても、3人(栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連)の受講が修了した。</p> <p>【主な新規資格取得者】 (医師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本肝胆膵外科学会高度技能専門医 1人 ・日本移植学会移植認定医 1人 <p style="text-align: center;">ほか、各種資格取得者2人</p>	2	3	3	<p>○ 指標は目標値を上回っており、また、コロナ禍における看護学校実習生の受入れ、医師事務作業補助者の活用等による医師の働き方改革の推進、認定看護師等資格等の資格の取得や研修の受講の促進等、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画

年度計画

【目標値】 (単位：%)

指標	福岡市民病院		
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値
医療の質向上 研修受講率	—	—	90

【目標値】 (単位：%)

指標	福岡市民病院	
	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
医療の質向上 研修受講率	—	90

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価									
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど								
<p>(看護部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定行為研修（1区分2行為） 3人 ・ 認定看護管理者教育課程サードレベル修了1人 ・ 福岡糖尿病療養指導士 1人 ・ 福岡県肝炎医療コーディネーター研修修了2人 ・ 両立支援コーディネーター 8人 ・ がんゲノム医療コーディネーター研修修了1人 <p>ほか、各種資格取得者9人</p> <p>(医療技術職、事務等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外来がん治療専門薬剤師 2人 ・ 糖尿病療養指導士 1人 ・ 診療情報管理士 1人 <p>ほか、各種資格取得者4人</p> <p>【認定看護師等資格取得支援制度による資格取得者数】 専門看護師1人 認定看護師18人（11分野） 認定看護管理者 1人 特定行為研修修了者 9人 （令和4年3月末現在）</p> <p>【実績値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療の質向上 研修受講率</td> <td>—</td> <td>96.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【自己評価の判断理由】 ○ 目標値を達成するとともに、派遣会社の活用やワーク・ライフ・バランス推進の取組等を継続して行った。また、意欲ある人材を確保するため、感染対策を講じた上で実習生の受入れを継続したほか、職員向け研修会等の開催、資格取得の推進など、年度計画を着実に実施したことから、自己評価は「3」とする。</p>	指標	福岡市民病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	医療の質向上 研修受講率	—	96.0				
指標		福岡市民病院										
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値										
医療の質向上 研修受講率	—	96.0										

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(2) 信頼される医療の実践</p> <p>① 院内感染防止マニュアルの整備や定期的な院内感染対策委員会の開催などによる院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心に医療安全に関する情報の収集・分析及び院内研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。</p> <p>② クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセント／アセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。</p> <p>③ 医療の質の確保・向上のため、第三者機関による外部評価等を活用するとともに、チーム医療の実践や多職種による患者指導の充実など、安全・安心な医療を提供する。</p>	<p>(2) 信頼される医療の実践</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 感染対策室、院内感染対策委員会及び感染制御チーム（ICT）の連携により、院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心とした TeamSTEP PS®の推進によるリスクマネジメントや、医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対応は、引き続きCOVID-19対策本部を中心とした、組織横断的な協力体制の維持を図る。</p> <p>② クリニカルパスの充実により、ケアの標準化、均質化を図り、医療の質の向上に努めるとともに、その活用による治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセント／アセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。</p> <p>③ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させるとともに、多職種による栄養サポートチーム（NST）により栄養管理の充実を図り、安全・安心な医療を提供する。</p> <p>PICUをはじめとする集中治療系病棟の安全性の向上及び医師・看護師の負担軽減を図るため、薬剤師の病棟業務を推進する。</p>

中期目標(内容)	<p>市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図ること。</p> <p>また、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得の上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底するなど、患者中心の医療を実践すること。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① コロナの感染拡大に際しては、院内のCOVID-19対策本部を中心に感染防止対策を講じ、組織横断的な協力体制の下、的確なコロナ対応を行った。</p> <p>専従の感染管理認定看護師を配置した感染対策室、院内感染対策委員会及び感染制御チーム（ICT）の連携を推進するとともに、Web等を活用して地域の医療機関とのカンファレンスを4回、相互サーベイランスを1回実施するなど、感染防止対策の強化を図った。</p> <p>また、医療安全管理室による、リスクマネジメントや医療従事者への教育を目的としたTeam STEPPS® (Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety) 推進の研修会を開催（3年度7テーマ、2年度5テーマ）し、医療安全対策の強化を図った。</p> <p>② 職員向け院内クリニカルパス大会を1回（2年度1回）開催するなど、クリニカルパス委員会を中心とした普及・啓発活動により、クリニカルパスの数は令和2年度から6種類（6疾患）増加し52種類（58疾患）となるなど、ケアの標準化、均質化による医療の質の向上を図った。</p> <p>また、退院患者に占めるクリニカルパスの使用率は41.9%（2年度42.5%）であった。</p> <p>③ 薬剤師による薬剤管理指導については、入院中の薬剤管理指導に加えて、退院後の薬剤服用に関する指導を積極的に実施するなど、指導内容の充実を図った。また、安全性の向上及び医師・看護師の負担軽減を図るため、令和2年度に引き続き、集中治療系病棟において薬剤師によるTPN（中心静脈栄養輸液）無菌調製を実施するとともに、令和4年2月からは対象を一般病棟を含む全病棟に拡大して同調製を実施した。</p>	2	4	4	<p>○ 院内外の連携による感染防止対策の強化や医療安全管理室による研修会の実施、クリニカルパスの活用等による安全・安心な医療の提供に継続的に取り組んでいる。</p> <p>○ 一部の指標が目標値を若干下回ったものの、薬剤管理指導や栄養指導を積極的に実施し、特に薬剤管理指導については、薬剤師によるTPN（中心静脈栄養輸液）無菌調製の対象を拡充するなど、更なる安全性の向上に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期計画				年度計画																																			
<p>【目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="3">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和2年度 見込値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全等の研修開催数(回)</td> <td>57</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>薬剤管理指導件数(件)</td> <td>4,929</td> <td>3,580</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相談件数(件)</td> <td>1,412</td> <td>1,200</td> <td>1,300</td> </tr> </tbody> </table>				指標	福岡市立こども病院			令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値	医療安全等の研修開催数(回)	57	50	50	薬剤管理指導件数(件)	4,929	3,580	5,000	栄養食事指導・相談件数(件)	1,412	1,200	1,300	<p>【目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和3年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全等の研修開催数(回)</td> <td>57</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>薬剤管理指導件数(件)</td> <td>4,929</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相談件数(件)</td> <td>1,412</td> <td>1,300</td> </tr> </tbody> </table>			指標	福岡市立こども病院		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値	医療安全等の研修開催数(回)	57	50	薬剤管理指導件数(件)	4,929	4,000	栄養食事指導・相談件数(件)	1,412	1,300
指標	福岡市立こども病院																																						
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値																																				
医療安全等の研修開催数(回)	57	50	50																																				
薬剤管理指導件数(件)	4,929	3,580	5,000																																				
栄養食事指導・相談件数(件)	1,412	1,200	1,300																																				
指標	福岡市立こども病院																																						
	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値																																					
医療安全等の研修開催数(回)	57	50																																					
薬剤管理指導件数(件)	4,929	4,000																																					
栄養食事指導・相談件数(件)	1,412	1,300																																					

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価															
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど														
<p>管理栄養士による栄養食事指導・相談については、入院患者の栄養状態や摂食能力に応じた栄養管理計画を作成し、主治医や病棟看護師と連携しながら適切に実施するとともに、多職種による栄養サポートチーム（NST）において、より高度な栄養管理が必要な入院患者に対し、栄養状態の改善・支援に取り組んだ（NST介入件数：112件）。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全等の研修 開催数（回）</td> <td>42</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>薬剤管理指導件数 （件）</td> <td>4,904</td> <td>5,407</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相 談件数（件）</td> <td>1,332</td> <td>1,414</td> </tr> </tbody> </table> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 感染防止対策の強化やTeam STEPPS®研修会の開催、クリニカルパスの数・使用率の増加等による医療安全対策の強化に取り組むとともに、薬剤管理指導や栄養食事指導等による安全・安心な医療の提供に積極的に取り組んだ。</p> <p>また、TPN（中心静脈栄養輸液）無菌調製を全病棟に拡大して実施し、安全性の向上及び医師・看護師の負担軽減を図るなど、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。</p>	指標	福岡市立こども病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	医療安全等の研修 開催数（回）	42	47	薬剤管理指導件数 （件）	4,904	5,407	栄養食事指導・相 談件数（件）	1,332	1,414				
指標		福岡市立こども病院																
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値																
医療安全等の研修 開催数（回）	42	47																
薬剤管理指導件数 （件）	4,904	5,407																
栄養食事指導・相 談件数（件）	1,332	1,414																

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(2) 信頼される医療の実践</p> <p>① 院内感染防止マニュアルの整備や定期的な院内感染対策委員会の開催などによる院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心に医療安全に関する情報の収集・分析及び院内研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。</p> <p>② クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセント/アセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。</p> <p>③ 医療の質の確保・向上のため、第三者機関による外部評価等を活用するとともに、チーム医療の実践や多職種による患者指導の充実など、安全・安心な医療を提供する。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症対策における経験を踏まえた院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心とした教育研修の実施や、他施設との医療安全相互チェックを継続するなど、医療安全対策の徹底を図る。</p> <p>② 医療の質の向上を目的としたクリニカルパスを積極的に活用し、より分かりやすいインフォームド・コンセントの徹底やホームページへの公開による治療内容の可視化など、患者中心の医療を実践する。</p> <p>③ 令和2年1月に受審し、5月に認定を受けた病院機能評価において、明確となった課題等に対する改善の取組を継続するとともに、医師をはじめとした多職種によるチーム医療の推進や患者指導の充実を図るなど、安全・安心な医療を提供する。</p>

中期目標(内容)	<p>市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図ること。</p> <p>また、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得の上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底するなど、患者中心の医療を実践すること。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 感染症専門医を中心に、院内感染対策委員会及び感染制御チーム（ICT）の連携により院内感染防止対策を徹底するとともに、Web会議システムを活用し、他病院との共同カンファレンス（3回）や相互ラウンド（2回）等を通じて、耐性菌検出状況や抗菌薬適正使用への取組、感染対策に関する情報交換、第三者的視点からの相互評価等を行った。</p> <p>また、医療安全対策地域連携ネットワークにおいて、Web会議システムを活用して参加施設間での意見交換・相互評価を実施（3回）し、自院だけでなく地域における医療安全対策の質の向上に取り組んだ。</p> <p>令和2年度に実施した医療安全文化調査について、令和3年度も引き続き実施するとともに、全職員対象の研修会にて調査結果のフィードバックを行い、そこで見出した課題に対する年間改善計画を作成し、改善のための取組を行った。また、こうした当院の取組に関して、調査を主催する日本医療機能評価機構の依頼により、改善事例集への掲載及び「2021年度医療安全文化調査活用支援セミナー」での講演を行った。</p> <p>コロナ第5波の際の院内クラスター発生に際しては、迅速な対応により影響を最小限に抑えるとともに、速やかな事後検証を行い、より質の高い院内感染対策に繋げることができるよう、院内の感染対策における改善点や強化点を整理し、フィードバックを行った。</p> <p>② クリニカルパスの新規作成及び既存パスの修正作業において、作成に関与できる範囲を明確に定めた上で医師事務作業補助者が参画し、医師の負担軽減と作業効率化を図った。その結果、コロナ対応における抗体カクテル療法パスを新規に迅速に作成することができた。</p>	2	4	4	<p>○ 院内感染対策について、専門医を中心とした組織横断での取組を進め、また、他病院との情報交換や相互評価等を行っている。</p> <p>○ 患者数の減少により薬剤管理指導件数及び栄養食事指導件数が目標値を下回ったものの、クリニカルパスの拡充や多職種連携によるがん患者等への指導管理に積極的に取り組んでおり、また、コロナなどの感染症に関する学術研究に取り組み、その成果を広く共有するなど、医療安全対策について年度計画を上回って実践していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期計画				年度計画																																										
<p>【目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="3">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和2年度 見込値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全等の研修開催数(回)</td> <td>26</td> <td>16</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>薬剤管理指導件数(件)</td> <td>9,588</td> <td>7,612</td> <td>9,000</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相談件数(件)</td> <td>1,144</td> <td>806</td> <td>1,098</td> </tr> <tr> <td>がん患者指導件数(件)</td> <td>8</td> <td>24</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>				指標	福岡市民病院			令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値	医療安全等の研修開催数(回)	26	16	28	薬剤管理指導件数(件)	9,588	7,612	9,000	栄養食事指導・相談件数(件)	1,144	806	1,098	がん患者指導件数(件)	8	24	30	<p>【目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和3年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全等の研修開催数(回)</td> <td>26</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>薬剤管理指導件数(件)</td> <td>9,588</td> <td>9,000</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相談件数(件)</td> <td>1,144</td> <td>993</td> </tr> <tr> <td>がん患者指導件数(件)</td> <td>8</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>			指標	福岡市民病院		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値	医療安全等の研修開催数(回)	26	25	薬剤管理指導件数(件)	9,588	9,000	栄養食事指導・相談件数(件)	1,144	993	がん患者指導件数(件)	8	24
指標	福岡市民病院																																													
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値																																											
医療安全等の研修開催数(回)	26	16	28																																											
薬剤管理指導件数(件)	9,588	7,612	9,000																																											
栄養食事指導・相談件数(件)	1,144	806	1,098																																											
がん患者指導件数(件)	8	24	30																																											
指標	福岡市民病院																																													
	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値																																												
医療安全等の研修開催数(回)	26	25																																												
薬剤管理指導件数(件)	9,588	9,000																																												
栄養食事指導・相談件数(件)	1,144	993																																												
がん患者指導件数(件)	8	24																																												

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価																		
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																	
<p>③ 薬剤師による処方監査・調剤監査や持参薬の確認、病棟の薬品管理、服薬指導等を行い、安全管理体制の徹底に努めた。</p> <p>管理栄養士による栄養食事指導については、引き続き取り組んだ。</p> <p>また、認知症ケアやがん患者に対するケア、指導管理等について、専門看護師や認定看護師を中心に多職種で連携して取り組んだ。</p> <p>● 令和2年5月のコロナ第1波後、ウイルスの実体が不透明ななか、当院の提案により、不顕性感染の実態把握と院内の感染防御対策の有効性の確認を目的として、全職員を対象に、任意の抗体検査を実施した。また、九大病院と共同で行った研究結果が「日本感染症学雑誌」に受理された。</p> <p>令和3年3月以降、職員の新型コロナワクチン接種が開始されたことを受け、副反応の程度とワクチン接種後の抗体反応の強さの関係性や、解熱剤の使用が抗体反応にどう影響するのか、同様に全職員に対して任意の抗体検査を実施して研究を継続した結果、当該研究論文が学術雑誌「V a c c i n e」に受理された。</p> <p>なお、当該研究結果については、複数のメディア等にも取り上げられ、市民の新型コロナワクチン接種に関する認識の向上に寄与したものと考えられる。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全等の研修 開催数(回)</td> <td>16</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>薬剤管理指導件数 (件)</td> <td>7,982</td> <td>7,231</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相 談件数(件)</td> <td>882</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>がん患者指導件数 (件)</td> <td>127</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	医療安全等の研修 開催数(回)	16	25	薬剤管理指導件数 (件)	7,982	7,231	栄養食事指導・相 談件数(件)	882	763	がん患者指導件数 (件)	127	72				
指標		福岡市民病院																			
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値																			
医療安全等の研修 開催数(回)	16	25																			
薬剤管理指導件数 (件)	7,982	7,231																			
栄養食事指導・相 談件数(件)	882	763																			
がん患者指導件数 (件)	127	72																			

中期計画	年度計画

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 目標値については、コロナの影響による患者数の減少に伴い、薬剤管理指導件数、栄養食事指導・相談件数が下回ったものの、医療安全文化調査に基づく改善活動の取組について日本医療機能評価機構主催のセミナーで講演を行ったほか、九大と共同で行ったワクチン関連の臨床研究結果をまとめた論文が学術誌に掲載されるなど、医療の質向上に寄与する活動を実施したことから、自己評価は「4」とする。</p>				

中期目標(項目)	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実</p> <p>① 理事会を中心に、適正かつ効率的な事業運営を図るため、外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。</p> <p>② 病院長のリーダーシップの下、医療情勢の変化や患者ニーズ等に迅速かつ的確に対応できる機動性の高い病院経営を行うとともに、市立病院機構全体として、長期的な視点を踏まえ、一体的な運営管理を行う。</p>	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実</p> <p>① 理事会を中心に、適正かつ効率的な事業運営を図るため、外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。</p> <p>② 病院長のリーダーシップの下、医療情勢の変化や患者ニーズ等に迅速かつ的確に対応できる機動性の高い病院経営を行うとともに、市立病院機構全体として、長期的な視点を踏まえ、一体的な運営管理を行う。</p> <p>福岡市立こども病院においては、戦略的分析チーム(S a T)による定期的なプレゼンテーションを通じて、病院運営や経営改善に資する提案を行っていく。また、D X (Digital Transformation) については、福岡市立こども病院においてワーキングチームを設置するなど、業務改善を推進する。</p>

中期目標(内容)	地方独立行政法人制度の特長を活かし、各病院が自らの特性や実情を踏まえ、より機動的に業務改善ができるよう、各病院において病院長がリーダーシップを発揮し、自律性を発揮できる運営管理体制の充実を図ること。
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>① 法人運営を的確に行うため、理事会を計9回開催し、理事会の決定方針に沿って自律的な運営を行った。なお、コロナの影響により、必要に応じてW e b会議で開催(4回)するなど運営に支障がないよう対応した。</p> <p>② 両病院ともに、病院長のリーダーシップの下、医療情勢の変化や患者のニーズに対応ができるよう、執行部会議(福岡市立こども病院)や経営五役会議(福岡市民病院)等を定期的に開催し、迅速な協議や意思決定、情報の共有化を図るとともに、病院の実態に則した機動性の高い病院経営に取り組んだ。</p> <p>また、運営本部と両病院合同による経営会議及び運営調整会議を毎月開催し、経営状況の把握や年度計画の進捗状況等を管理し、法人全体的な視点から、経済性・効率性の追求を徹底するなど、市立病院として適切な法人運営に取り組んだ。</p> <p>福岡市立こども病院においては、若手から中堅職員による組織横断的な戦略的分析チーム(S a T)による活動が行われ、計9回(2年度9回)のプレゼンテーションを実施し、病院運営や経営改善に関する提案が行われた。</p> <p>また、各部署から選出したメンバーで構成するD X (Digital Transformation) ワーキングチームを中心に、データサイエンス勉強会を開催(18回)するなど、I C T (情報通信技術) 導入による業務効率化に多角的に対応するための教育を行った。</p> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 理事会や執行部会議等をW e b等も活用しながら適宜開催し、迅速かつ的確に対応できる機動性の高い病院経営を行うなど、年度計画を確実に実施しているため、自己評価は「3」とする。</p>	1	3	3	○ 病院長のリーダーシップの下での機動性の高い病院経営、運営本部との緊密な連携による法人の一体的運営が図られ、また、I C T (情報通信技術) の効率的な導入に向けた取組を進めており、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。

中期目標(項目)	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>2 事務部門の機能強化</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 事務部門の機能強化</p> <p>① 経営状況や医療を取り巻く情報を整理・分析する能力など、事務部門に求められる専門性を更に高めていくため、研修の充実を図るとともに、スキルアップを支援するための制度の導入を検討する。</p> <p>② 市立病院の運営に必要なノウハウ等が蓄積・継続されるよう、情報共有の徹底やOJT (On the Job Training) の充実を図るとともに、人材育成プランを基に、職員のキャリアプランを踏まえた人事異動を通して、事務部門の更なる機能強化に努める。</p>	<p>2 事務部門の機能強化</p> <p>① 市立病院の運営に必要なノウハウ等が蓄積・継続されるよう、事務のマニュアル化や業務の可視化等に努めるとともに、ICT技術の更なる活用を図り、情報共有や業務の効率化を推進する。</p> <p>② 事務部門に求められる専門性を更に高めていくため、研修の充実を図るとともに、テーマごとの職場内研修等の実施により、効果的なOJT (On the Job Training) に繋げる。 職員のキャリアプランを踏まえた適材適所の人事配置に努める。 事務作業の自動化・効率化を推進することを目的に導入したRPA (Robotic Process Automation) について更に活用し、事務作業の軽減を図る。</p>

中期目標(内容)	各病院の経営支援を的確に行うことができる人材や、医療を巡る環境変化に柔軟に対応できる人材を育成するため、その専門的知識やスキルを習得するための研修を計画的に実施するとともに、市立病院としてのノウハウを確実に蓄積し、事務部門の更なる機能強化に努めること。
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>① 市立病院の運営に必要なノウハウ等が蓄積・継続されるよう、運営本部及び両病院の経理担当者会議等を行うとともに、労務管理システム導入に向けた準備等事務の簡素化や効率化等に努めた。</p> <p>また、D X (Digital Transformation) を法人全体で統一的に推進するため、「企画情報推進室」の新設準備を行った（令和4年4月設置）。</p> <p>② マネジメント能力やチームをまとめる能力の向上等を目的として、係長級及び主任級への昇任者を対象に、研修を実施した（参加人数76人）。</p> <p>事務部門全体の機能強化及び職員のキャリアプランを踏まえ、運営本部及び両病院間における人事異動を実施した。</p> <p>福岡市立こども病院においては、R P A (Robotic Process Automation) の更なる活用を図るとともに、グループウェアシステムの本格運用を行い、各種お知らせや申請・承認業務等を電子化し、事務業務の効率化を推進した。</p> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 担当者会議や研修等を実施するとともに、D Xの推進にも取り組んでおり、事務の簡素化・効率化等に努めるなど年度計画を確実に実施しているため、自己評価は「3」とする。</p>	1	3	3	<p>○ 各種システムの導入・運用による事務の効率化を進めるとともに、D X推進に向けた枠組みづくり、職員研修や人事異動の実施による職員の能力向上に取り組むことにより、事務部門の更なる機能強化に努めており、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>3 働きがいのある職場環境づくり</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 働きがいのある職場環境づくり</p> <p>① 職員ニーズ等を踏まえ、福利厚生の更なる充実に取り組むとともに、育児・介護等の支援制度の利用促進や組織全体の意識改革を図り、柔軟で働きやすい職場環境の整備に努める。</p> <p>② 国の働き方改革の考え方を踏まえ、人員配置や業務の見直し等、職員の業務負担の軽減に努めるとともに、時間外勤務の適正化や年次有給休暇を取得しやすい職場環境を整備し、ワーク・ライフ・バランスの確保及び職員の健康保持に取り組む。</p> <p>③ 職員のモチベーションの維持・向上を図るため、人事評価制度の改善に引き続き取り組むとともに、社会情勢の変化等に適合しつつ、職員の意欲を引き出すよう、人事・給与制度について、適宜、見直しを行う。</p>	<p>3 働きがいのある職場環境づくり</p> <p>① 職員が安心して働き続けることができるよう、福利厚生の更なる充実に取り組むとともに、育児・介護等の支援制度の周知徹底はもとより、研修や会議等を通じて、所属長を始め職員の意識改革を図る。</p> <p>② 医師をはじめとする各職種によるタスクシフティングを進めるなど、職員の負担軽減に努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進に継続的に取り組み、時間外勤務の適正化や年休の取得率の向上を図る。</p> <p>令和2年4月に策定した「心の健康づくり計画」に基づき、メンタルヘルス対策に積極的に取り組み、心身ともに健康で働きやすい環境づくりを推進する。特に、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、職員がメンタルサポートをより受けやすい環境作りに努める。</p> <p>ハラスメント防止に向けた意識醸成を図るため、全職員を対象とした研修会を開催する。</p> <p>I C Tの活用による事務作業の自動化・効率化を推進し、事務作業の軽減を図る。</p> <p>③ 職員のモチベーション向上を図る観点から、医師や管理職を対象とした人事評価制度を実施するとともに、社会情勢の変化等を踏まえた人事・給与制度の改善に取り組む。</p>

中期目標(内容)	<p>国の働き方改革の考え方を踏まえたワーク・ライフ・バランスの実現や職員の福利厚生の実現に向けた取組を行い、職員が働きやすい職場環境の整備に努めること。</p> <p>また、職員の業績や能力を公正かつ客観的に評価できるように人事評価制度の改善を行い、職員のモチベーションの維持・向上を図ること。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>① コロナの流行に伴い、職員の発熱により出勤することが困難な場合の特別休暇等を継続して措置するとともに、在宅勤務制度や新型コロナウイルスワクチン接種に関する有給職免制度を導入するなど、安心して働き続けることができる制度の充実に取り組んだ。</p> <p>② 福岡市立こども病院においては、医師の超音波検査業務を臨床検査技師へ移管するなど、各職種のタスクシフティングに取り組み、職員の負担軽減に努めるとともに、医師の働き方改革の取組の一環として、院内外における時間外勤務の調査を実施し、実態に応じた医師の労働時間短縮計画を策定するなど、医師の時間外勤務の適正化に努めた。</p> <p>福岡市民病院においては、医師業務改善委員会・看護職員業務改善委員会を行い各職種のタスクシフティングに取り組んだ。また、職員の働き方改革への取組として、ワーク・ライフ・バランス推進委員会を開催し、医療従事者の生活の質の向上による職員の定着を図るため、委員会から各所属長へ年次有給休暇取得状況の向上を呼び掛ける等、職員一人ひとりがやりがいや、充実感を得られる勤務環境に改善するよう努めた。</p> <p>管理監督者に対し、メンタルヘルス面談スキルアップ研修を実施した(参加人数51人)。</p> <p>全職員に対し、Web動画を活用したハラスメント研修を実施した(参加人数1,123人)。</p> <p>③ 令和2年度に導入した管理職目標管理制度(対象:医師以外の管理職)については、令和3年度から業績手当への反映を実施し、管理職員のモチベーションの維持・向上を図った。</p> <p>また、コロナ対応を行う職員に対する手当を引き続き支給するとともに、看護職員の処遇改善のための特殊業務手当(看護職員特別調整手当)の創設や国の補助金の趣旨に則った一時金の支給を行った。</p>	1	3	3	<p>○ 指標は目標値を若干下回っているものの、コロナ禍の実情に応じた休暇等の整備、医師の時間外労働の適正化に向けた計画策定、メンタルヘルス等の研修の実施、管理職目標管理制度の導入など、職員が働きやすい職場環境の整備や人事評価制度の改善を図っており、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画				年度計画		
【目標値】 (単位：%)				【目標値】 (単位：%)		
指 標	市立病院機構全体			指標	市立病院機構全体	
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
新採・転入職員とのメンタルヘルス面談実施率	—	—	90	新採・転入職員とのメンタルヘルス面談実施率	—	90

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)			自己評価		市長の評価	
			ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
【実績値】 (単位：%)						
指標	市立病院機構全体					
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値				
新採・転入職員との メンタルヘルス面 談実施率	—	76.8				
【自己評価の判断理由】 ○ コロナに対応した特別休暇や給与制度等を 継続して整備し、両病院において各職種のタ スクシフティング等に取り組み、勤務環境の 改善に努めるとともに、管理職目標管理制度 について医師以外の管理職に対し業績手当へ の反映を実施するなど年度計画を確実に実施 しているため、自己評価は「3」とする。						

中期目標(項目)	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>4 法令遵守と公平性・透明性の確保</p>
----------	---

中期計画	年度計画																										
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>4 法令遵守と公平性・透明性の確保</p> <p>① 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスの徹底を目的とした管理監督者研修などを実施することにより、チェック機能を強化し、不適切な事務処理や不祥事を未然に防止するとともに、市立病院として公平性・透明性を確保した適正な病院運営を行う。</p> <p>② 個人情報の保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応する。</p>	<p>4 法令遵守と公平性・透明性の確保</p> <p>① 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを徹底するため、管理監督者を対象としたコンプライアンス研修を実施することにより、チェック機能を強化し、不適切な事務処理や不祥事を未然に防止する。</p> <p>監事（弁護士、公認会計士）及び会計監査人による監査等の実施により、内部統制を適正に維持し、市立病院として適正な病院運営を行う。</p> <p>② 個人情報の保護及び情報公開に関しては、情報セキュリティ研修等を通じて職員の教育を徹底することにより、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応する。また、カルテ等の診療情報に関しては、診療録開示委員会を開催して開示の可否を決定する。</p>																										
【目標値】 (単位：%)	【目標値】 (単位：%)																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="3">市立病院機構全体</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和2年度 見込値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンプライアンス研修受講率</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> <tr> <td>情報セキュリティ研修受講率</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </tbody> </table>	指標	市立病院機構全体			令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値	コンプライアンス研修受講率	—	—	100	情報セキュリティ研修受講率	—	—	100	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">市立病院機構全体</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和3年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンプライアンス研修受講率</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> <tr> <td>情報セキュリティ研修受講率</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </tbody> </table>	指標	市立病院機構全体		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値	コンプライアンス研修受講率	—	100	情報セキュリティ研修受講率	—	100
指標		市立病院機構全体																									
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値																								
コンプライアンス研修受講率	—	—	100																								
情報セキュリティ研修受講率	—	—	100																								
指標	市立病院機構全体																										
	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値																									
コンプライアンス研修受講率	—	100																									
情報セキュリティ研修受講率	—	100																									

中期目標(内容)	<p>医療法を始めとする関係法令を遵守することはもとより、行動規範と倫理に従い、市立病院の運営を担う地方独立行政法人として、公平性・透明性を確保した病院運営を行うこと。</p> <p>また、個人情報の保護及び情報公開に関しては、福岡市個人情報保護条例（平成17年福岡市条例第103号）及び福岡市情報公開条例（平成14年福岡市条例第3号）に基づき、適切に対応すること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価												
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど											
<p>① 管理監督者に対するWeb動画を活用したコンプライアンス研修等様々な機会を通じて職員の服務規律の指導を徹底し、法人職員として有すべき行動規範と倫理観の確立に努めた。</p> <p>法人全体の業務の適正及び効率性の観点から、監事（弁護士、公認会計士）による監査を受けた。</p> <p>② 個人情報保護及び情報公開に関しては、情報セキュリティ委員会を開催（5回）し、サイバー攻撃対策やセキュリティポリシーを改正するとともに、全職員に対する動画を活用した情報セキュリティ研修を開催して職員の教育を徹底するなど、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応した。</p> <p>また、カルテ等の開示請求に対しては、診療録（カルテ）開示委員会で開示の可否を決定した（福岡市立こども病院16件、福岡市民病院47件）。</p> <p>【実績値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">市立病院機構全体</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンプライアンス 研修受講率</td> <td>—</td> <td>96.2</td> </tr> <tr> <td>情報セキュリティ 研修受講率</td> <td>—</td> <td>92.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ コンプライアンスや情報セキュリティについての研修を実施するとともに、情報公開についても適切に対応するなど、年度計画を確実に実施しているため、自己評価は「3」とする。</p>	指標	市立病院機構全体		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	コンプライアンス 研修受講率	—	96.2	情報セキュリティ 研修受講率	—	92.2	1	3	3	○ 指標は目標値を若干下回っているものの、研修を通じた不適切な事務処理や不祥事の未然防止に努めた。また、情報セキュリティ研修等による職員教育、診療録開示委員会の開催など、法令遵守と公平性・透明性の確保に努めており、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。
指標		市立病院機構全体													
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値													
コンプライアンス 研修受講率	—	96.2													
情報セキュリティ 研修受講率	—	92.2													

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>1 持続可能な経営基盤の確立 (1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化</p>
----------	---

中期計画	年度計画																										
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 持続可能な経営基盤の確立</p> <p>(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化</p> <p>市立病院として求められる医療を安定的かつ継続的に提供するため、医療環境の変化に対応しながら、より一層の経営の効率化や健全化を進め、持続可能な経営基盤の確立を図る。</p> <p>また、運営費負担金の趣旨を踏まえ、市立病院としての役割に応じた政策的医療を提供するとともに、自律的な運営に努め、経営改善に取り組む。</p> <p>【目標値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="3">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和2年度 見込値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>108.2</td> <td>103.0</td> <td>98.2 (101.2※)</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>93.4</td> <td>87.2</td> <td>84.5 (87.0※)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ PFI契約に基づく節目の大規模修繕費用を除いて算出した場合</p>	指標	福岡市立こども病院			令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値	経常収支比率	108.2	103.0	98.2 (101.2※)	医業収支比率	93.4	87.2	84.5 (87.0※)	<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 持続可能な経営基盤の確立</p> <p>(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>毎週開催の執行部会議、毎月開催の運営会議において、新型コロナウイルス感染症等による医療環境の変化や病院の経営状況を踏まえ、取り組むべき課題を明確にしたうえで、収益の確保及び費用削減に取り組むとともに、月次決算の実施など経営に関する情報を迅速に把握し、経営分析や他病院との比較・分析を行うなど、効率的な病院経営を行う。</p> <p>【目標値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和3年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>108.2</td> <td>100.9</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>93.4</td> <td>87.0</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値	経常収支比率	108.2	100.9	医業収支比率	93.4	87.0
指標		福岡市立こども病院																									
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値																								
経常収支比率	108.2	103.0	98.2 (101.2※)																								
医業収支比率	93.4	87.2	84.5 (87.0※)																								
指標	福岡市立こども病院																										
	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値																									
経常収支比率	108.2	100.9																									
医業収支比率	93.4	87.0																									

中期目標(内容)	<p>市立病院として求められる医療を安定的かつ継続的に提供していくため、医療環境の変化に対応しながら、より一層の経営の効率化や健全化を進めるなど、経営改善に取り組み、持続可能な経営基盤を確立すること。</p> <p>また、地方独立行政法人法に基づく運営費負担金の趣旨を踏まえ、公立病院としての役割を果たすとともに、自律的な運営に努めること。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価												
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど											
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>○ 執行部会議や運営会議を定期的を開催し、コロナ禍で患者数が減少する等の厳しい状況に対して、効率的な病院経営について検討を重ね、決定事項等については迅速に所属長へ周知し、対策に取り組んだ結果、経常収支比率は目標値を上回った。</p> <p>【実績値】 (単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">104.3</td> <td style="text-align: center;">105.6</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td style="text-align: center;">86.1</td> <td style="text-align: center;">87.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ コロナ禍で厳しい状況に対して、執行部会議等において効率的な病院経営について検討を重ね、対策に取り組んだ結果、経常収支比率及び医業収支比率が目標値を上回るなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。</p>	指標	福岡市立こども病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	経常収支比率	104.3	105.6	医業収支比率	86.1	87.8	2	3	3	<p>○ コロナの影響を受ける中、効率的な病院経営に取り組んだ結果、全ての指標で目標値を上回っており、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>
指標		福岡市立こども病院													
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値													
経常収支比率	104.3	105.6													
医業収支比率	86.1	87.8													

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>1 持続可能な経営基盤の確立 (1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化</p>
----------	---

中期計画	年度計画																										
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 持続可能な経営基盤の確立</p> <p>(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化</p> <p>市立病院として求められる医療を安定的かつ継続的に提供するため、医療環境の変化に対応しながら、より一層の経営の効率化や健全化を進め、持続可能な経営基盤の確立を図る。</p> <p>また、運営費負担金の趣旨を踏まえ、市立病院としての役割に応じた政策的医療を提供するとともに、自律的な運営に努め、経営改善に取り組む。</p> <p>【目標値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="3">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和2年度 見込値</th> <th>令和6年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>95.8</td> <td>106.2</td> <td>100.1</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>87.2</td> <td>82.2</td> <td>90.4</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院			令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値	経常収支比率	95.8	106.2	100.1	医業収支比率	87.2	82.2	90.4	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応など、福岡市の中核病院としての役割を果たしながら、市立病院として求められる高度専門、救急医療を提供し、病床稼働率の向上、救急患者の受入れ及び手術件数の増加を図るなど、収益の確保に努める。併せて、医療の質を担保しながら人員体制等の最適化を図るなど、収支改善に努める。</p> <p>【目標値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度 実績値</th> <th>令和3年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>95.8</td> <td>95.8</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>87.2</td> <td>81.3</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値	経常収支比率	95.8	95.8	医業収支比率	87.2	81.3
指標		福岡市民病院																									
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値																								
経常収支比率	95.8	106.2	100.1																								
医業収支比率	87.2	82.2	90.4																								
指標	福岡市民病院																										
	令和元年度 実績値	令和3年度 目標値																									
経常収支比率	95.8	95.8																									
医業収支比率	87.2	81.3																									

中期目標(内容)	<p>市立病院として求められる医療を安定的かつ継続的に提供していくため、医療環境の変化に対応しながら、より一層の経営の効率化や健全化を進めるなど、経営改善に取り組み、持続可能な経営基盤を確立すること。</p> <p>また、地方独立行政法人法に基づく運営費負担金の趣旨を踏まえ、公立病院としての役割を果たすとともに、自律的な運営に努めること。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価												
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど											
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>○ コロナ対策における福岡市の中核的な役割を果たすとともに、高度専門医療、救急医療について、可能な限り通常診療の継続に取り組んだ。</p> <p>令和3年度は令和2年度以上にコロナ病床の確保期間が長期化し、入院患者数が著しく減少したものの、高度な手術等の増加により入院単価が向上するなど、医業収益は目標値を上回った。また、コロナ対応のための派遣職員雇用や外注検査委託等に係る経費が増加したため、医業収支比率は目標値を下回ったが、国や県の補助金により、必要な経費の補填等に努めた結果、経常収支比率は目標値を上回った。</p> <p>【実績値】 (単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>109.5</td> <td>116.1</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>79.2</td> <td>79.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ コロナ対応2年目である令和3年度はコロナ病床の確保期間が更に長期化したことなどから、患者数は前年度より更に減少したため、医業収支比率は目標を下回ったが、高度な手術の増加による入院単価の向上により医業収益は増収となった。また、コロナ対応に係る国や県の補助金により必要な経費の補填等に努めた結果、経常収支比率は目標を達成したことから、自己評価は「3」とする。</p>	指標	福岡市民病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	経常収支比率	109.5	116.1	医業収支比率	79.2	79.4	2	3	3	<p>○ コロナの影響を受ける中、効率的な病院経営に取り組んだ結果、医業収支比率は目標値を下回ったものの、コロナ対応に係る補助金収入により経常収支比率は目標値を上回っていることを勘案し、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>
指標		福岡市民病院													
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値													
経常収支比率	109.5	116.1													
医業収支比率	79.2	79.4													

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>1 持続可能な経営基盤の確立 (2) 投資財源の確保</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 持続可能な経営基盤の確立</p> <p>(2) 投資財源の確保</p> <p>独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努める。</p>	<p>(2) 投資財源の確保</p> <p>独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努める。</p>

中期目標(内容)	施設整備や高額医療機器の更新など、今後の投資計画を踏まえながら、自己財源の確保に努めること。
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>○ 収支改善により生じた利益については、積立てを行うなど、今後の投資計画を踏まえた投資財源の確保を図り、計画的な施設整備、高額医療機器の更新や必要な医療機器の購入等、効果的な投資を行った。</p> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 継続したコロナ禍においても、収支改善は図られており、利益の積立て等による投資財源の確保や、施設整備等の効果的な投資が図られていることから、自己評価は「3」とする。</p>	1	3	3	<p>○ 収支改善による利益確保や、価格交渉の徹底による費用の抑制などにより、自己財源の確保が図られていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期目標(項目)	第3 財務内容の改善に関する事項 2 収支改善 (1) 収益確保
----------	-------------------------------------

中期計画	年度計画
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 収支改善</p> <p>(1) 収益確保</p> <p>① 診療体制の充実等による高度専門医療の提供に取り組むとともに、効率的な病床管理や高額医療機器の稼働率向上等に努め、収入の確保を図る。</p> <p>② 診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応して適切な施設基準の取得及び維持に取り組む。</p> <p>また、診療報酬請求に係る精度を高めるようチェック体制を更に強化するとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努めるなど、安定的な収益の確保に努める。</p>	<p>2 収支改善</p> <p>(1) 収益確保</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 循環器、周産期及び手術・集中治療センターを中心に、関連科との連携を密にし、高度専門医療、小児救急医療及び周産期医療の充実並びに病院設備の効率的な稼働を図る。</p> <p>各種補助金を的確に活用することにより、収入の確保を図る。</p> <p>診療報酬全般について、随時的確な情報収集を行い、適切な施設基準の取得や維持管理に努める。</p> <p>② 保険診療検討ワーキングチームを中心に査定内容の分析・対策立案等を行うとともに、令和2年度に実施したレセプト精度調査結果を踏まえて、診療報酬請求のさらなる精度向上に努める。</p> <p>医事課職員やMSWによる患者相談の充実等により、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、回収困難事案については、法律事務所への業務委託によって確実な回収を図る。</p>

中期目標(内容)	診療体制の充実や効率的な病床利用及び高度医療機器の稼働率向上に努めるとともに、診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応し、安定的かつ確実な収益の確保に努めること。
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 毎週行われる執行部会議において、各センター長を含む病院幹部による患者数・手術件数等のモニタリング及び協議を行い、病棟間の人員配置を弾力的に行う等、効率的な病棟運用の施策を講じた。</p> <p>国や県のコロナ関連補助金を含む各種補助金の把握に努め、申請事務を適切に行うことにより、収益の確保を図った。</p> <p>診療報酬全般について、適切な施設基準の取得や維持管理に努めるとともに、令和4年度の診療報酬の改定に関する的確な情報収集を行った。</p> <p>② 院内の保険診療検討ワーキングチームを中心に、査定傾向の分析に基づいた診療報酬請求プロセスの改善活動を病院全体で実施した結果、一次査定率を0.04%に抑えることができた(2年度0.13%)。</p> <p>医療費の未収金については、患者相談を適宜実施し、経済状況に合わせて分納や後日支払い等の働きかけを行うことで未然に発生を防止するとともに、回収困難事例については弁護士事務所に委託し、確実な回収を図った。</p>	2	3	3	<p>○ 入院、外来単価の指標がわずかに目標値に達していないが、患者数は目標値を上回っている。具体的な取組としては、効率的な病棟の運用、各種補助金の的確な活用、診療報酬請求プロセスの改善活動による査定の回避、患者相談の充実や弁護士事務所への業務委託による未収金対策に努め、目標の未達を最小限にとどめていることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画				年度計画		
【目標値】*再掲				【目標値】*再掲		
指標	福岡市立こども病院			指標	福岡市立こども病院	
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
1人1日当たり 入院単価(円)*	108,393	112,546	110,000	1人1日当たり 入院単価(円)*	108,393	112,000
1人1日当たり 外来単価(円)	11,492	12,746	11,620	1人1日当たり 外来単価(円)	11,492	11,620
1日当たり入院 患者数(人)* (病床利用率※ (%))*	215.5 (90.2)	190.0 (79.5)	205.5 (86.0)	1日当たり 入院患者数(人)* (病床利用率※ (%))*	215.5 (90.2)	195.0 (81.6)
新規入院患者数 (人)*	7,428	6,180	6,883	新規入院患者数 (人)*	7,428	6,530
平均在院日数 (日)	9.7	9.9	9.9	平均在院日数(日)	9.7	9.9
1日当たり 外来患者数(人)	389.5	356.1	371.4	1日当たり 外来患者数(人)	389.5	363.2
手術件数(件)*	2,929	2,730	2,800	手術件数(件)*	2,929	2,740
救急搬送件数 (件)*	1,380	963	1,060	救急搬送件数(件) *	1,380	1,000
※ 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延べ入院患者数÷年延べ病床数×100)に基づき算出				※ 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延べ入院患者数÷年延べ病床数×100)に基づき算出		

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)			自己評価		市長の評価	
			ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
【実績値】*再掲						
指標	福岡市立こども病院					
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値				
1人1日当たり 入院単価(円)*	112,693	109,403				
1人1日当たり 外来単価(円)	11,959	11,434				
1日当たり 入院患者数(人)* (病床利用率※ (%))*	187.8 (78.6)	198.9 (83.2)				
新規入院患者数(人) *	6,195	7,104				
平均在院日数(日)	10.1	9.2				
1日当たり 外来患者数(人)	353.3	385.5				
手術件数(件)*	2,603	2,705				
救急搬送件数(件) *	980	1,269				
※ 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延べ入院患者数÷年延べ病床数×100)に基づき算出						
【自己評価の判断理由】 ○ 1人1日当たり入院単価、外来単価及び手術件数については目標値を下回ったが、効率的な病棟運用の施策を講じるとともに、保険診療検討ワーキングチームを中心とした診療報酬請求プロセスの改善活動に取り組み、一次査定率を低く抑えるなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。						

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>2 収支改善 (1) 収益確保</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 収支改善</p> <p>(1) 収益確保</p> <p>① 診療体制の充実等による高度専門医療の提供に取り組むとともに、効率的な病床管理や高額医療機器の稼働率向上等に努め、収入の確保を図る。</p> <p>② 診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応して適切な施設基準の取得及び維持に取り組む。</p> <p>また、診療報酬請求に係る精度を高めるようチェック体制を更に強化するとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努めるなど、安定的な収益の確保に努める。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 重症患者の円滑な受入れと確保を目的とした「ICU・救急プロジェクトチーム(仮称)」を設置し、がん、心疾患、脳卒中、脊椎疾患等に係る難易度の高い手術症例の適切な確保に取り組む。</p> <p>また、診療体制の充実等による高度専門医療への取組に関して、紹介元医療機関等に対する訪問活動を通じた情報発信の強化など、紹介患者の確保に努める。</p> <p>② 診療報酬改定等を踏まえ、適切な施設基準の取得及び維持管理に努める。</p> <p>また、診療報酬請求に係る精度を高めるようレセプトチェックシステムのカスタマイズを引き続き実施し、正確なレセプト請求を行うことで、査定率の減に取り組むとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努める。</p>

中期目標(内容)	診療体制の充実や効率的な病床利用及び高度医療機器の稼働率向上に努めるとともに、診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応し、安定的かつ確実な収益の確保に努めること。
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 重症患者の円滑な受入れと確保を目的とした「ICU・救急プロジェクト」を令和2年度に設置し、令和3年度は救急搬送件数の確保に向けた取組を進める計画だったが、相次ぐコロナ変異株の影響による感染者数の急増により、コロナ対応が途切れることなく続いたことで、救急強化の取組は保留とし、紹介患者の確保に重点を置き、開業医に特化した広報誌の発行(3回)、開業医等へのメールマガジン動画の配信(144件に対し計4回)等情報発信を強化するとともに、新規開業医療機関を3件訪問し、当院の医療機能を説明し開放型登録医としての登録を依頼するなど、患者数の増に向けた取組を行った。</p> <p>また、BIツールを導入し、毎月の所属長会議において、より詳細な収益動向の分析と可視化を行うことで課題等を共有し、増収対策につなげる取組を開始した。</p> <p>② 令和4年度診療報酬改定に備え、情報収集や対応方針等の準備を進めるとともに、特に重要な入院料の改定に当たっては、事前に現状分析とシミュレーションを実施し、経営五役会議での全体方針の決定後、カンファレンス等において診療科個別に対策の検討を開始した。</p> <p>レセプトチェックシステムのカスタマイズを引き続き行うとともに、各診療科医師との連携を図り、正確なレセプト請求を行った。さらに、査定減対策のため、主要診療科のカンファレンスに医事課及び医療事務委託会社の職員が参加し、改善点等についての情報共有を行うなど、レセプト請求の精度向上に取り組んだ。</p> <p>また、未収金については、未収金対応マニュアルを活用して、電話及び文書による督促や分納相談等により回収を行うとともに、回収困難案件については、法律事務所への業務委託を継続し、確実な回収を図った。加えて、患者サービスの向上を目的として導入し</p>	2	3	3	<p>○ 入院、外来の患者数は目標値に達していないが、一方で診療単価は目標値を上回っている。具体的な取組としては、情報発信強化による紹介患者の確保、診療科と医事課等の協同によるレセプト請求の精度向上、弁護士事務所への業務委託や入院費保証サービスを活用した未収金対策を着実に実施しており、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画				年度計画		
【目標値】*再掲				【目標値】*再掲		
指標	福岡市民病院			指標	福岡市民病院	
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
1人1日当たり 入院単価(円)*	64,081	69,327	66,300	1人1日当たり 入院単価(円)*	64,081	65,000
1人1日当たり 外来単価(円)	22,965	24,998	23,000	1人1日当たり 外来単価(円)	22,965	23,000
1日当たり入院 患者数(人)* (病床利用率※ (%))*	183.9 (90.2)	167.5 (82.1)	190.0 (93.1)	1日当たり 入院患者数(人)* (病床利用率※ (%))*	183.9 (90.2)	174.2 (85.4)
新規入院患者数 (人)*	4,525	4,053	4,769	新規入院患者数 (人)*	4,525	4,310
平均在院日数 (日)	12.7	12.8	12.6	平均在院日数(日)	12.7	12.6
1日当たり 外来患者数(人)	219.7	194.6	220.0	1日当たり外来患者 数(人)	219.7	212.7
手術件数(件)*	3,719	3,437	3,815	手術件数(件)*	3,719	3,448
救急搬送件数 (件)*	2,820	2,404	3,023	救急搬送件数(件) *	2,820	2,732
※ 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延べ入院患者数÷年延べ病床数×100)に基づき算出				※ 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延べ入院患者数÷年延べ病床数×100)に基づき算出		

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価																														
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																													
<p>た、病衣及び日用品の日額定額制レンタルサービスに付帯する入院費保証による代位弁済請求により、2件の対象患者について、信用保証会社への請求（35,428円）を行った。</p> <p>【実績値】*再掲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1日当たり 入院単価(円)*</td> <td>73,748</td> <td>78,153</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり 外来単価(円)</td> <td>24,077</td> <td>24,597</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 入院患者数(人)* (病床利用率※ (%)) *</td> <td>160.0 (78.4)</td> <td>154.0 (75.5)</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数(人) *</td> <td>4,026</td> <td>4,048</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>13.0</td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>1日当たり外来患者 数(人)</td> <td>197.3</td> <td>205.9</td> </tr> <tr> <td>手術件数(件)*</td> <td>3,625</td> <td>3,877</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数(件) *</td> <td>2,411</td> <td>2,565</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法（年延べ入院患者数÷年延べ病床数×100）に基づき算出</p> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 目標値については、入院単価、外来単価、平均在院日数、手術件数を除いて目標を下回ったものの、コロナの影響により活動継続が困難となった救急強化対策に替えて、紹介患者の確保に重点を置いた広報活動に取り組んだほか、診療報酬改定に備えたシミュレーションや個別対応策の検討を開始するなど、収益確保に努めた。</p> <p>診療報酬単価の高い手術の増加等の結果、診療単価が向上し、医業収益も増収となったことから、自己評価は「3」とする。</p>	指標	福岡市民病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	1人1日当たり 入院単価(円)*	73,748	78,153	1人1日当たり 外来単価(円)	24,077	24,597	1日当たり 入院患者数(人)* (病床利用率※ (%)) *	160.0 (78.4)	154.0 (75.5)	新規入院患者数(人) *	4,026	4,048	平均在院日数(日)	13.0	12.5	1日当たり外来患者 数(人)	197.3	205.9	手術件数(件)*	3,625	3,877	救急搬送件数(件) *	2,411	2,565				
指標		福岡市民病院																															
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値																															
1人1日当たり 入院単価(円)*	73,748	78,153																															
1人1日当たり 外来単価(円)	24,077	24,597																															
1日当たり 入院患者数(人)* (病床利用率※ (%)) *	160.0 (78.4)	154.0 (75.5)																															
新規入院患者数(人) *	4,026	4,048																															
平均在院日数(日)	13.0	12.5																															
1日当たり外来患者 数(人)	197.3	205.9																															
手術件数(件)*	3,625	3,877																															
救急搬送件数(件) *	2,411	2,565																															

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>2 収支改善 (2) 費用削減</p>
----------	--

中期計画	年度計画																																																						
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 収支改善</p> <p>(2) 費用削減</p> <p>① 医療の質や医療安全の確保、患者へのサービス及び職員の労働環境等に十分配慮したうえで、職員の適正配置を行い、給与費比率の適正化に努める。</p> <p>② 診療材料や医薬品等の調達に関し、SPD(医療材料物流管理)事業者やコンサルタントと共同して、分析及びそれに基づく価格交渉の徹底、契約手法や委託業務内容の見直し及びジェネリック医薬品の使用拡大等を行い、費用の削減を図る。</p> <p>③ 両病院ともに、適切に施設・設備のアセットマネジメントを推進する。</p>	<p>(2) 費用削減</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① RPA(Robotic Process Automation)をはじめとするICTの活用による業務の効率化を推進し、人員配置ならびに給与比率の適正化に努める。</p> <p>② SPD事業者やコンサルタントと共同して、他の医療機関とのベンチマーク分析及びそれに基づく価格交渉の徹底や同種同効品への切り替え等を行い、診療材料費の更なる削減に取り組むとともに、委託費等の経費全般においても、契約手法の見直しに努め、費用削減を図る。</p> <p>③ PFI事業者から予防保全を前提に提案・策定された修繕更新計画に基づき、適切に管理を行い、建物・設備の長寿命化ならびに維持・修繕費用の縮減を図る。</p>																																																						
【目標値】 (単位：%)	【目標値】 (単位：%)																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="3">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度実績値</th> <th>令和2年度見込値</th> <th>令和6年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td> <td>56.2</td> <td>63.1</td> <td>61.2</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td>17.5</td> <td>17.7</td> <td>20.2</td> </tr> <tr> <td>うち薬品費対医業収益比率</td> <td>5.5</td> <td>5.4</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>うち診療材料費対医業収益比率</td> <td>11.6</td> <td>11.9</td> <td>13.1</td> </tr> <tr> <td>委託費対医業収益比率</td> <td>9.3</td> <td>11.1</td> <td>12.0</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック医薬品導入率 ※</td> <td>89.9</td> <td>85.0</td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ジェネリック医薬品導入率については、数量の割合で算出している。</p>	指標	福岡市立こども病院			令和元年度実績値	令和2年度見込値	令和6年度目標値	給与費対医業収益比率	56.2	63.1	61.2	材料費対医業収益比率	17.5	17.7	20.2	うち薬品費対医業収益比率	5.5	5.4	6.8	うち診療材料費対医業収益比率	11.6	11.9	13.1	委託費対医業収益比率	9.3	11.1	12.0	ジェネリック医薬品導入率 ※	89.9	85.0	85.0	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和元年度実績値</th> <th>令和3年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td> <td>56.2</td> <td>63.4</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td>17.5</td> <td>18.4</td> </tr> <tr> <td>うち薬品費対医業収益比率</td> <td>5.5</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>うち診療材料費対医業収益比率</td> <td>11.6</td> <td>11.9</td> </tr> <tr> <td>委託費対医業収益比率</td> <td>9.3</td> <td>11.3</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック医薬品導入率 ※</td> <td>89.9</td> <td>85.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ジェネリック医薬品導入率については、数量の割合で算出している。</p>	指標	福岡市立こども病院		令和元年度実績値	令和3年度目標値	給与費対医業収益比率	56.2	63.4	材料費対医業収益比率	17.5	18.4	うち薬品費対医業収益比率	5.5	6.2	うち診療材料費対医業収益比率	11.6	11.9	委託費対医業収益比率	9.3	11.3	ジェネリック医薬品導入率 ※	89.9	85.0
指標		福岡市立こども病院																																																					
	令和元年度実績値	令和2年度見込値	令和6年度目標値																																																				
給与費対医業収益比率	56.2	63.1	61.2																																																				
材料費対医業収益比率	17.5	17.7	20.2																																																				
うち薬品費対医業収益比率	5.5	5.4	6.8																																																				
うち診療材料費対医業収益比率	11.6	11.9	13.1																																																				
委託費対医業収益比率	9.3	11.1	12.0																																																				
ジェネリック医薬品導入率 ※	89.9	85.0	85.0																																																				
指標	福岡市立こども病院																																																						
	令和元年度実績値	令和3年度目標値																																																					
給与費対医業収益比率	56.2	63.4																																																					
材料費対医業収益比率	17.5	18.4																																																					
うち薬品費対医業収益比率	5.5	6.2																																																					
うち診療材料費対医業収益比率	11.6	11.9																																																					
委託費対医業収益比率	9.3	11.3																																																					
ジェネリック医薬品導入率 ※	89.9	85.0																																																					

中期目標(内容)	<p>地方独立行政法人の会計制度に基づいた効果的かつ効率的な事業運営に努めるとともに、効果的な費用の削減に努めること。</p> <p>また、計画的な維持修理による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理の効率化などのアセットマネジメントを推進すること。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価																								
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																							
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① ICT（情報通信技術）を活用した人事評価システムの導入に係る検討を開始したほか、グループウェアシステムの本格運用により、各種お知らせや申請・承認業務等を電子化するなど、事務業務の効率化を推進した。</p> <p>② 診療材料については、積極的にSPD（医療材料物流管理）受託業者と連携・協力し、安価な同種同効品への切替えや更なる価格交渉を徹底した結果、診療材料費を約390万円削減した（削減額は、SPD（医療材料物流管理）委託契約前年度（令和元年度）の購入単価を基準として算出）。</p> <p>また、経費全般においても価格交渉の徹底、契約手法の見直しに努め、削減を図った。</p> <p>③ PFI事業者から予防保全を前提に提案・策定された修繕更新計画に基づき、適切に管理を行い、建物・設備の長寿命化及び維持・修繕費用の縮減を図った。</p> <p>【実績値】 (単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>令和2年度 実績値</th> <th>令和3年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td> <td style="text-align: center;">64.5</td> <td style="text-align: center;">62.2</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td style="text-align: center;">18.1</td> <td style="text-align: center;">19.0</td> </tr> <tr> <td> うち薬品費対医業収益比率</td> <td style="text-align: center;">5.6</td> <td style="text-align: center;">5.5</td> </tr> <tr> <td> うち診療材料費対医業収益比率</td> <td style="text-align: center;">12.2</td> <td style="text-align: center;">13.2</td> </tr> <tr> <td>委託費対医業収益比率</td> <td style="text-align: center;">10.7</td> <td style="text-align: center;">10.4</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック医薬品導入率 ※</td> <td style="text-align: center;">85.8</td> <td style="text-align: center;">86.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ジェネリック医薬品導入率については、数量の割合で算出している。</p>	指標	福岡市立こども病院		令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	給与費対医業収益比率	64.5	62.2	材料費対医業収益比率	18.1	19.0	うち薬品費対医業収益比率	5.6	5.5	うち診療材料費対医業収益比率	12.2	13.2	委託費対医業収益比率	10.7	10.4	ジェネリック医薬品導入率 ※	85.8	86.3	2	3	3	<p>○ 材料費対医業収益比率については目標値をわずかに下回っているが、ICT（情報通信技術）を活用した事務業務の効率化、SPD（医療材料物流管理）事業者との連携による診療材料費の節減、施設・設備の長寿命化及び維持修繕費用の削減に着手に取り組んでおり、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>
指標		福岡市立こども病院																									
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値																									
給与費対医業収益比率	64.5	62.2																									
材料費対医業収益比率	18.1	19.0																									
うち薬品費対医業収益比率	5.6	5.5																									
うち診療材料費対医業収益比率	12.2	13.2																									
委託費対医業収益比率	10.7	10.4																									
ジェネリック医薬品導入率 ※	85.8	86.3																									

中期計画	年度計画

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ コロナの感染拡大に伴う検査試薬等の増により、診療材料費比率が目標値を下回ったが、ICT（情報通信技術）を活用した事務業務の効率化を推進するとともに、SPD受託業者と連携した費用削減の取組を継続して行うなど、年度計画を順調に実施していると判断し、自己評価は「3」とする。</p>				

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>2 収支改善 (2) 費用削減</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 収支改善</p> <p>(2) 費用削減</p> <p>① 医療の質や医療安全の確保、患者へのサービス及び職員の労働環境等に十分配慮したうえで、職員の適正配置を行い、給与費比率の適正化に努める。</p> <p>② 診療材料や医薬品等の調達に関し、SPD(医療材料物流管理)事業者やコンサルタントと共同して、分析及びそれに基づく価格交渉の徹底、契約手法や委託業務内容の見直し及びジェネリック医薬品の使用拡大等を行い、費用の削減を図る。</p> <p>③ 両病院ともに、適切に施設・設備のアセットマネジメントを推進する。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① ICTの活用等による業務の効率化を図るとともに、職員の適正配置を行い給与比率の適正化に努める。</p> <p>② SPD事業者による診療材料費削減結果等の報告会を実施し、詳細な現状把握や他病院との比較分析等を行うとともに、価格交渉にあたっては多職種によるCOP(Cost Optimization)チームを中心に、SPD受託業者と積極的に連携し、医業収益に対する診療材料比率の縮減等に取り組む。</p> <p>③ 令和2年度に再度見直しを実施した中長期修繕計画に基づき、維持・修繕費用の削減を図る。</p>

中期目標(内容)	<p>地方独立行政法人の会計制度に基づいた効果的かつ効率的な事業運営に努めるとともに、効果的な費用の削減に努めること。</p> <p>また、計画的な維持修理による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理の効率化などのアセットマネジメントを推進すること。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 院内の業務用ネットワークを再構築し、業務用PC端末の配置の見直しを行って、事務作業や情報共有等に係る業務効率化を図った。</p> <p>② 令和4年度からのSPD（医療材料物流管理）事業者変更に当たり、一般消耗品とプリンタートナーについてもSPD事業者による管理が可能となったことから、それぞれ価格交渉等を行った結果、一般消耗品は年間約50万円、プリンタートナーは110万円の削減見込みとなった。</p> <p>また、診療録等を保管する院外倉庫について、保管業者を変更し、価格交渉により保管単価を削減するとともに、保管量の見直しを行った結果、年間約230万円の削減見込みとなった。</p> <p>その他、エレベーター保守費用、令和4年度更新予定の新しいCT装置の保守費用についても準備交渉を重ね、エレベーター保守費用は年間約160万円、CT装置の保守費用は200万円の削減見込みとなった。</p> <p>COP（Cost Optimization）チームによる診療材料価格交渉に継続して取り組み、腎臓内科で年間約93万円、脳神経外科で年間約40万円の削減見込みとなった。</p> <p>③ 本館の外壁について、経年劣化によるタイルの剥落等、歩道の歩行者等への影響が懸念される範囲の補修工事を実施した。また、屋上等の防水工事を実施した。</p>	2	3	3	<p>○ 材料費対医業収益比率は目標値を下回っているが、業務用ネットワーク見直しによる業務の効率化、SPD（医療材料物流管理）事業者等との交渉による一般消耗品費等の節減、COPチームの価格交渉による診断材料費の削減に着実に取り組んでおり、今後の改善も想定し、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画				年度計画		
【目標値】 (単位：%)				【目標値】 (単位：%)		
指標	福岡市民病院			指標	福岡市民病院	
	令和元年度 実績値	令和2年度 見込値	令和6年度 目標値		令和元年度 実績値	令和3年度 目標値
給与費対医業収益比率	62.9	67.2	56.6	給与費対医業収益比率	62.9	67.2
材料費対医業収益比率	27.0	26.3	28.8	材料費対医業収益比率	27.0	26.2
うち薬品費対医業収益比率	8.4	8.0	8.8	うち薬品費対医業収益比率	8.4	8.0
うち診療材料費対医業収益比率	18.4	18.1	19.9	うち診療材料費対医業収益比率	18.4	18.1
委託費対医業収益比率	7.6	7.9	8.5	委託費対医業収益比率	7.6	8.4
ジェネリック医薬品導入率 ※	88.7	88.7	88.7	ジェネリック医薬品導入率 ※	88.7	88.7
※ ジェネリック医薬品導入率については、数量の割合で算出している。				※ ジェネリック医薬品導入率については、数量の割合で算出している。		

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)			自己評価		市長の評価	
			ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
【実績値】 (単位：%)						
指標	福岡市民病院					
	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値				
給与費対医業収益比率	70.5	67.4				
材料費対医業収益比率	27.6	29.3				
うち薬品費対医業収益比率	7.6	8.0				
うち診療材料費対医業収益比率	19.7	20.9				
委託費対医業収益比率	8.0	8.3				
ジェネリック医薬品導入率 ※	89.1	88.3				
<p>※ ジェネリック医薬品導入率については、数量の割合で算出している。</p> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 目標値については、高度な手術等の増加により材料費、中でも診療材料費比率が目標値を下回ったものの、令和3年度もコロナ対応のための経費や人件費等が生じる中で、費用削減の取組を継続して実施するとともに、その他の指標については、概ね達成していることから、年度計画通りに実施していると判断し、自己評価は「3」とする。</p>						

中期目標(項目)	<p>第4 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 福岡市立こども病院における医療機能の充実</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置</p> <p>1 福岡市立こども病院における医療機能の充実</p> <p>中核的な小児総合医療施設としての役割を果たすため、医療環境の変化等を踏まえ、高度小児専門医療、小児救急医療及び周産期医療の更なる充実を図るとともに、治験や臨床データ解析等の臨床研究、国際的な視野に立った職員の人材育成等に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展に貢献する。</p> <p>また、新病院基本構想で示された医療機能の基本的な考え方を踏まえ、引き続き病床の適切な運用や更なる確保を目指した取組を進める。</p>	<p>第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置</p> <p>1 福岡市立こども病院における医療機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 臨床研究や検証的臨床試験に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展や新薬の開発に貢献する。 ○ 国際医療支援センターを中心に、職員の外国語能力・コミュニケーション能力の向上を目指して、研修活動等を行う。 ○ 高度医療を行う小児総合医療施設として患者の治療・救命に全力を尽くすとともに、患者・家族の選択肢の一つとして、臓器提供の申し出がなされた際は円滑に対応できるよう、院内体制の維持するため必要な取組を行う。 ○ 個人や企業からの支援確保に向け積極的な情報発信や働きかけを行うことにより、研究基金・療養環境整備基金・患児家族滞在施設整備基金の造成を図る。 ○ 新病院基本構想で示された医療機能の基本的な考え方を踏まえ、引き続き病床の適切な運用等に係る取組を進める。 ○ 10月に予定している電子カルテシステムの更新に際しては、WGにおいて多角的に検討を行い、新システムへの円滑な移行を進める。

中期目標(内容)	<p>小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ、福岡市立こども病院に求められる役割を果たせるよう、中核的な小児総合医療施設としての医療機能の更なる充実を図ること。</p> <p>また、新病院基本構想で示された医療機能の基本的な考え方を踏まえ、引き続き病床の適切な運用や更なる確保を目指した取組を進めること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>○ 厚生労働省DPC（診断群分類）公開データにおいて、川崎病（113例）及び先天性心疾患に係る手術症例（70例）について、成人を含む全国のDPC病院の中で症例数が6年連続で全国1位となった。</p> <p>臨床研究については、科学研究費助成事業（文部科学省）で研究代表として採択された課題等に積極的に取り組み、15件（うち研究代表3件）の研究に参加した。また、川崎病の臨床研究については、福岡市立こども病院が主体で作成した論文が日本川崎病学会（2021年）第22回川崎賞を受賞するとともに、2021年の英語論文数において全国3位、質（インパクトファクター）においては全国1位となった。</p> <p>治験業務については、アクティブプロトコル27件（うち新規10件）を実施し、新たに9人の患者へ治験を開始した。</p> <p>○ 国際医療支援センターを中心に、職員の外国語能力・コミュニケーション能力の向上を目指して、医療英語・中国語・フランス語研修を延べ15回開催した（2年度延べ24回開催）。</p> <p>○ 臓器提供の申し出がなされた際に円滑に対応できるよう、外部講師による講演会を1回開催するとともに、脳死判定及び臓器提供のシミュレーションを各1回実施した。</p> <p>○ コロナの影響により、積極的な企業訪問は中止としたが、令和4年4月開業予定の県内大型商業施設に、支援自販機（寄付型自動販売機）の設置に係る働きかけを行った結果、1台の設置が決定した。</p> <p>○ 新病院基本構想で示された医療機能の基本的な考え方を踏まえ、引き続き病床の適切な運用等に係る取組を進めた。</p> <p>○ 多職種で構成される「医療情報システム導入検討プロジェクト会議」を中心に、院内及びシステム業者との入念な調整を行い、診療への影響を最小限にとどめる形で新システムへの移行を完了させた。</p>	2	4	5	<p>○ 川崎病や先天性心疾患に係る手術症例を始めとする高度小児専門医療に加え、小児救急医療及び周産期医療の充実に取り組んでいる。</p> <p>○ 臨床研究や治験にも積極的に取り組み、特に川崎病に関する研究論文については学会の権威ある賞を受賞するとともに、全国有数の評価を受けるなど、小児・周産期医療の発展に貢献したことを積極的に評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断されるため、「評価5」とする。</p>

中期計画	年度計画

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ 臨床研究や治験業務に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展や新薬の開発に貢献するなど、医療機能の充実を図った。</p> <p>特に、川崎病の症例数や先天性心疾患に係る手術症例数が成人を含むD P C病院の中で6年連続全国1位となったほか、川崎病の臨床研究では、福岡市立こども病院が主体で作成した論文が日本川崎病学会の川崎賞を受賞するとともに、2021年英語論文数で全国3位、インパクトファクターで全国1位となるなど、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とする。</p>				

中期目標(項目)	<p>第4 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>2 福岡市民病院における経営改善の推進</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置</p> <p>2 福岡市民病院における経営改善の推進</p> <p>① 将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえながら、福岡県保健医療計画及び地域医療構想に基づき、公立病院に求められる高度専門医療、救急医療を提供するとともに、福岡市の医療施策として必要な感染症医療等の診療機能の充実に取り組む。</p> <p>その一方で、経営の効率化に積極的に取り組み、現在の医療資源を最大限有効活用して、収支の改善に努める。</p> <p>② 収支の状況を踏まえながら、築30年を超えた既存の施設・設備の計画的な維持管理に取り組む。</p>	<p>2 福岡市民病院における経営改善の推進</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症対策においては、引き続き福岡市の中核的な役割を果たすとともに、公立病院に求められる高度専門医療、救急医療の充実に取り組む。</p> <p>また、将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえながら、現在の医療資源を最大限有効活用して経営の効率化に積極的に取り組む。</p> <p>② 中長期修繕計画に基づき、施設・設備の長寿命化や投資の平準化を図るとともに、将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえ、当該計画を適宜見直し、施設・設備の適切な維持管理に取り組む。</p>

中期目標(内容)	<p>福岡市民病院については、地方独立行政法人化後、医療環境の変化等を踏まえ医療機能を強化するなど、順調にその経営改善が図られたところであるが、引き続き経営課題の解決に努めるなど、更なる経営改善を進めること。</p> <p>また、将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえながら、既存の施設・設備の計画的な維持管理に取り組むこと。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>① 経営改善に係る取組については、令和2年度に立ち上げた「ICU・救急プロジェクト」において、令和3年度は救急搬送件数の確保に重点を置いた取組を進める予定であったが、相次ぐコロナ変異株の影響による感染者数の急増により、コロナ対応が途切れることなく続いたことで、救急強化の取組は保留となった。第5波の収束から第6波までの期間で、コロナ患者数が大幅に減少した時期はあったものの、福岡県がフェーズ1に移行したのは1か月間(令和3年12月)のみであった。</p> <p>令和2年度と比較しても、1年を通じて長期間にわたりコロナ専用の受入病床を確保(57床)したことにより、患者数は大幅に減少した。</p> <p>一方で、福岡市におけるコロナ対応の中核的な役割を果たしながら、通常診療を途切れさせないため、診療科や病棟の垣根を越えた患者受入れを行うとともに、紹介患者の確保のための広報活動や新規開業医療機関への訪問活動等の取組を重点的に行った結果、コロナ専用病棟を除く一般病棟において、病床利用率が年平均93.9%となり、院内クラスター発生による一時的な入院制限等があったにもかかわらず、高い水準を維持した。</p> <p>入院診療単価についても、高度な手術等の増加により、診療報酬特例加算分を除いて73,541円と向上するなど、様々な制約下において可能な限りの医業収益確保に努めた。</p> <p>また、COP(Cost Optimization)チームを中心とした診療材料費の縮減等、費用削減に取り組んだものの、医業収支比率は目標値を下回ったが、国や県のコロナ関連補助金により、コロナ対応で必要となる経費等の補填に活用し、経常収支は黒字となった。</p>	2	3	4	<p>○ 高度専門医療や高度救急医療の提供など、求められる役割を果たしながら、収益向上及び経費削減による収支改善、計画的な施設・設備の維持管理に取り組んでいる。</p> <p>○ コロナ対応を積極的に行う一方で、地域の医療機関との連携強化や医療資源の効率的活用を図って通常医療を途切れさせず、また、高度医療の実践により診療単価の向上を果たすなど、診療機能の充実及び経営改善に努めている。収支面では、こうした取組の積み重ねやコロナ対策に伴う国や県からの補助金交付により、経常収支における黒字を達成するなど、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期計画	年度計画

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>② 中長期修繕計画に基づき、緊急性の高い外壁補修及び屋上等防水工事を実施するとともに、高度専門医療の提供に必要な医療機器の購入や、次年度以降の購入・更新計画の作成等、必要な投資を行った。</p> <p>【自己評価の判断理由】</p> <p>○ コロナの影響により、令和2年度よりもコロナの病床確保期間が長期化する中で患者数が減少したものの、紹介患者の確保に向けた活動や、高度な手術件数の増加に積極的に取り組んだ結果、入院単価が向上し、医業収益は増収となった。</p> <p>さらに、国や県の補助金により、コロナ対応で増加した経費を補填するなど、経常収支については黒字となった。</p> <p>コロナ対応では福岡市の中核的な役割を果たすとともに、福岡県においても重点医療機関としての対応を継続しながら、高度専門医療の提供に積極的に取り組み、医業収益は増収となったものの、医業収支が悪化したことを踏まえ、自己評価は「3」とする。</p>				

第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1 予算（令和3年度）の状況

（単位：百万円）

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)
収入			
営業収益	16,658	19,022	2,364
医業収益	14,534	14,837	303
運営費負担金収益	1,727	1,725	△ 3
補助金等収益	304	2,374	2,070
寄附金収益	6	14	8
受託収入	87	72	△ 14
営業外収益	185	193	8
運営費負担金収益	65	65	—
補助金等収益	4	4	0
その他営業外収益	116	124	8
資本収入	207	314	107
長期借入金	—	—	—
運営費負担金	207	210	3
寄附金	—	—	—
補助金等	—	104	104
その他の収入	—	—	—
計	17,050	19,530	2,480
支出			
営業費用	15,615	16,055	440
医業費用	15,442	15,883	441
給与費	9,224	9,305	81
材料費	3,404	3,772	368
経費	2,716	2,732	16
研究研修費	98	75	△ 23
一般管理費	172	172	△ 0
給与費	124	125	1
経費	48	47	△ 1
営業外費用	170	173	3
臨時損失	—	15	15
資本支出	3,294	2,138	△ 1,156
建設改良費	2,526	1,370	△ 1,156
償還金	768	768	△ 0
その他の支出	—	—	—
計	19,079	18,382	△ 697

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは一致しないものがある。

2 収支計画（令和3年度）の状況

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)
収益の部	17,097	19,481	2,384
営業収益	16,912	19,298	2,386
医業収益	14,534	14,823	289
運営費負担金収益	1,727	1,725	△ 3
補助金等収益	304	2,374	2,070
寄附金収益	6	14	8
資産見返負債戻入	254	296	42
受託収入	87	66	△ 21
営業外収益	185	183	△ 2
運営費負担金収益	65	65	—
その他営業外収益	120	117	△ 2
臨時利益	—	—	—
費用の部	17,283	17,754	471
営業費用	17,113	17,566	453
医業費用	16,857	16,744	△ 112
給与費	9,406	9,516	110
材料費	3,404	3,399	△ 5
経費	2,721	2,500	△ 221
減価償却費	1,226	1,257	31
資産減耗費	2	2	1
研究研修費	98	71	△ 28
一般管理費	179	171	△ 7
その他営業費用	78	650	573
営業外費用	170	173	3
臨時損失	—	15	15
純利益	△ 186	1,727	1,914
目的積立金取崩額	—	—	—
総利益	△ 186	1,727	1,914

(注) 計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは一致しないものがある。

3 資金計画（令和3年度）の状況

（単位：百万円）

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)
資金収入	21,570	23,949	2,379
業務活動による収入	16,843	19,171	2,328
診療業務による収入	14,534	14,965	432
運営費負担金による収入	1,793	1,790	△ 3
その他の業務活動による収入	516	2,415	1,899
投資活動による収入	207	1,546	1,338
運営費負担金による収入	207	210	3
その他の投資活動による収入	－	1,335	1,335
財務活動による収入	－	－	－
長期借入れによる収入	－	－	－
その他の財務活動による収入	－	－	－
前事業年度からの繰越金	4,519	3,232	△ 1,287
資金支出	21,570	23,949	2,379
業務活動による支出	15,785	16,444	659
給与費支出	9,348	9,454	107
材料費支出	3,404	3,423	19
その他の業務活動による支出	3,033	3,566	533
投資活動による支出	2,402	2,560	159
有形固定資産取得による支出	2,402	1,219	△ 1,182
無形固定資産取得による支出	－	114	114
その他の投資活動による支出	－	1,227	1,227
財務活動による支出	892	887	△ 5
長期借入金の返済による支出	536	536	－
移行前地方債償還債務の償還による支出	232	232	△ 0
その他の財務活動による支出	124	119	△ 5
翌事業年度への繰越金	2,491	4,058	1,567

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

第6 短期借入金の限度額

中期計画	年度計画	実績
1 限度額 2,000百万円 2 想定される短期借入金の発生事由 ア 業績手当(賞与)の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	1 限度額 2,000百万円 2 想定される短期借入金の発生事由 ア 業績手当(賞与)の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	該当なし

第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

中期計画	年度計画	実績
重要な財産を譲渡する計画 土地(福岡市中央区唐人町二丁目133番2 面積16,925.85平方メートル)を譲渡する。	なし	該当なし

第8 剰余金の使途

中期計画	年度計画	実績
決算において剰余金が生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実等に充てる。	決算において剰余金が生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実等に充てる。	令和3年度は、決算において剰余を生じたので、令和4年度以降における病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実等に充てる予定である。

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

中期計画	年度計画	実績																		
<p>1 施設及び設備に関する計画 (令和3年度から令和6年度まで) (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>4,762</td> <td>積立金等</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設、医療機器等整備	4,762	積立金等	<p>1 施設及び設備に関する計画 (令和3年度) (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>2,402</td> <td>前中期目標期間繰越積立金等</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設、医療機器等整備	2,402	前中期目標期間繰越積立金等	<p>1 施設及び設備に関する計画 (令和3年度) (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>決定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>1,370</td> <td>前中期目標期間繰越積立金等</td> </tr> </tbody> </table>	施設及び設備の内容	決定額	財源	病院施設、医療機器等整備	1,370	前中期目標期間繰越積立金等
施設及び設備の内容	予定額	財源																		
病院施設、医療機器等整備	4,762	積立金等																		
施設及び設備の内容	予定額	財源																		
病院施設、医療機器等整備	2,402	前中期目標期間繰越積立金等																		
施設及び設備の内容	決定額	財源																		
病院施設、医療機器等整備	1,370	前中期目標期間繰越積立金等																		
<p>2 人事に関する計画</p> <p>人事評価制度の改善に引き続き取り組むとともに、教育・研修体制の充実等により、職員のモチベーションの維持・向上を図る。</p> <p>また、適材適所を基本とした柔軟な人事配置を行うとともに、有期職員の活用やアウトソーシングの検討を積極的に行い、効果的・効率的な組織運営体制の構築を図る。</p>	<p>2 人事に関する計画</p> <p>人事評価制度の改善に引き続き取り組むとともに、教育・研修体制の充実等により、職員のモチベーションの維持・向上を図る。</p> <p>また、適材適所を基本とした柔軟な人事配置を行うとともに、有期職員の活用やアウトソーシングの検討を積極的に行い、効果的・効率的な組織運営体制の構築を図る。</p>	<p>2 人事に関する計画</p> <p>令和2年度に導入した管理職目標管理制度（対象：医師以外の管理職）については、令和3年度から業績手当への反映を実施し、管理職員のモチベーションの維持・向上を図った。</p> <p>また、管理監督者に対し、メンタルヘルス面談スキルアップ研修やWeb動画を活用したコンプライアンス研修を、係長級及び主任級への昇任者を対象に、マネジメント能力の向上等を目的とした研修をそれぞれ実施した。</p> <p>各病院においてもWeb等を活用した院内研修の実施や外部研修の受講推進等研修体制の充実に努めた。</p> <p>人材育成や組織の活性化を図るため、適材適所の人事配置に努めたほか、有期職員を福岡市立こども病院に134人、福岡市民病院に111人及び運営本部に3人配置するなど、効果的・効率的な組織運営を推進した。</p> <p>※有期職員の人数は令和3年5月1日現在</p>																		

地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針

〔平成30年6月22日 決定〕

地方独立行政法人法（以下「法」という。）第28条第1項各号の規定に基づき、福岡市長（以下「市長」という。）が実施する地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下「法人」という。）の業務実績に関する評価（以下「評価」という。）については、以下の方針に基づき行うものとする。

1 基本方針

- (1) 評価は、法人が中期目標を達成するために、業務運営の改善及び効率化が進められること及び法人の質的向上に資することを目的として行うものとする。
- (2) 評価は、年度計画及び中期計画の実施状況を確認及び分析し、法人の業務運営等について総合的に判断して行うものとする。
- (3) 年度計画及び中期計画を実現するために、法人として特色ある取組や様々な工夫を行った場合は積極的に評価することとし、単に実績数値にとらわれないものとする。
- (4) 評価方法については、法人を取り巻く環境変化などを踏まえ、柔軟に対応するとともに、必要に応じて見直しを行うものとする。

2 評価方法

(1) 法人からの報告書の提出

法人は、各事業年度の終了後3月以内に、法第28条第2項及び地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則第8条に定める報告書（以下「業務実績報告書」という。）を市長に提出するものとする。

(2) 評価の実施

市長は、提出された業務実績報告書をもとに、法人からの意見聴取等を踏まえて業務の実施状況を確認及び分析し、別途、実施要領で定める項目を評価単位とする「項目別評価」と、それを踏まえた「全体評価」により評価を行うものとする。

評価は、毎事業年度の終了後に実施する「年度評価」、中期目標の期間の最後の事業年度の直前の事業年度の終了後に実施する「中期目標期間見込評価」及び中期目標の期間の最後の事業年度の終了後に実施する「中期目標期間評価」とする。

① 年度評価

当該事業年度における業務の実績について「項目別評価（小項目評価及び大項目評価）」を行う。また、「項目別評価」の結果を踏まえ、当該事業年度における業務の実績全体について総合的に「全体評価」を行う。

② 中期目標期間見込評価

中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績について「項目別評価（大項目評価）」を行う。また、「項目別評価」の結果を踏まえ、当該中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績全体について総合的に「全体評価」を行う。

③ 中期目標期間評価

中期目標の期間における業務の実績について「項目別評価（大項目評価）」を行う。また、「項目別評価」の結果を踏まえ、当該中期目標の期間における業務の実績全体について総合的に「全体評価」を行う。

3 評価結果等の活用

- (1) 法人は、法第 28 条第 6 項に基づく業務運営の改善等の措置を受けた場合、自主的に必要な措置をとるとともに、法第 29 条に基づき、評価の結果を、中期計画及び年度計画並びに業務運営の改善に適切に反映させる。
- (2) 次期中期目標の策定、次期中期計画の認可及び法人の業務の継続又は組織の存続の必要性等に関する検討に関して、評価委員会が意見を述べる際には、中期目標の期間の各事業年度の評価結果を踏まえるものとする。

4 適用時期

この方針は、平成 30 年度に実施する業務実績評価から適用する。

地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領

〔平成30年6月22日 決定〕
〔令和4年4月22日 改正〕

地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、福岡市長（以下「市長」という。）が地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下「法人」という。）の各事業年度における業務の実績に関する評価を実施するにあたっては、「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針（平成30年6月22日決定）」に基づき、以下の要領により実施する。

1 評価区分

(1) 全体評価

当該事業年度における業務の実績全体について評価を行う。

(2) 項目別評価

① 大項目評価

法第25条第2項第2号から第5号の各号に基づき、中期目標に掲げる第1から第4の事項について評価を行う。

② 小項目評価

大項目評価で定める評価区分に基づき、別表で定める事項について評価を行う。

2 評価結果の公表

評価の結果は、評価区分ごとに評価結果報告書（別紙1のとおり）にとりまとめ公表する。

3 評価方法

(1) 法人の自己評価

法人は、中期計画及び年度計画の実施状況等が明らかになるよう、小項目ごとの当該事業年度における業務の実績をできる限り定量的に記載するとともに、次の5段階で自己評価を行い、判断理由等を記載した業務実績報告書（別紙2のとおり）を作成する。法人は、各小項目に市立病院としての役割や年度計画の重要度合いを考慮して、ウェイトを設定するものとする。

なお、業務の実績には、病院ごとの実績がわかるよう工夫し、特記事項として、特色ある取組、法人運営を円滑に進めるための工夫、今後の課題など

を自由に記載するものとし、自己評価は、病院の自己点検に基づき、法人として行うものとする。

- 評価５・・・年度計画を大幅に上回って実施している。
- 評価４・・・年度計画を上回って実施している。
- 評価３・・・年度計画を順調に実施している。
- 評価２・・・年度計画を十分に実施できていない。
- 評価１・・・年度計画を大幅に下回っている。

(2) 項目別評価

① 小項目評価

市長は、業務実績報告書記載の法人の自己評価を踏まえ、小項目ごとの当該事業年度における業務の実績について、次の５段階による評価を行う。その際、単に目標値及び前年度数値と当該年度の実績値の比較だけでなく、中期計画を達成するために効果的な取組が行われているかどうかなど、総合的に判断するとともに評価の判断理由等を記載する。

その他、必要に応じて、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。

- 評価５・・・年度計画を大幅に上回って実施している。
- 評価４・・・年度計画を上回って実施している。
- 評価３・・・年度計画を順調に実施している。
- 評価２・・・年度計画を十分に実施できていない。
- 評価１・・・年度計画を大幅に下回っている。

② 大項目評価

市長は、小項目評価の結果を踏まえ、大項目ごとの当該事業年度における業務の実績について、次の５段階による評価を行う。評価に当たっては、小項目評価の１～５をそれぞれ１点～５点とし、ウエイト換算後の合計を評価点、すべての小項目評価が３の場合の合計を標準点とし、標準点に対する評価点の割合（％）により評価を行うものとする。

また、特筆すべき小項目評価やその他考慮すべき事項がある場合、判断理由を記載する。

評価Ｓ：中期計画の実現に向けて、特筆すべき進捗状況にある
(市長が特に認める場合)

- 評価A：中期計画の実現に向けて計画以上に進んでいる
(評価点が標準点の120%以上)
- 評価B：中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる
(評価点が標準点の100%以上120%未満)
- 評価C：中期計画の実現のためにはやや遅れている
(評価点が標準点の100%未満)
- 評価D：中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある
(市長が特に認める場合)

(3) 全体評価

市長は、項目別評価の結果を踏まえ、当該事業年度における業務の実績全体について、記述式による評価を行う。

全体評価においては、病院改革の取組（法人運営における業務運営の改善・効率化、財務内容の改善など）を積極的に評価するものとする。

その評価にあたり、項目別評価の結果及びその判断理由とともに、主な取組や特色ある取組及び特に優れている点など特筆すべき取組について記載するものとする。

また、評価に際し改善すべき事項がある場合は記載する。

4 適用時期

この要領は、平成30年度に実施する業務実績評価から適用する。

(別表) 項目別評価

大項目	小項目	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践
		(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進
		(3) 災害・感染症等への適切な対応
	2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上
		(2) 情報発信
	3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修
(2) 信頼される医療の実践		
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	
	2 事務部門の機能強化	
	3 働きがいのある職場環境づくり	
	4 法令遵守と公平性・透明性の確保	
第3 財務内容の改善に関する事項	1 持続可能な経営基盤の確立	(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化
		(2) 投資財源の確保
	2 収支改善	(1) 収益確保
		(2) 費用削減
第4 その他業務運営に関する重要事項	1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	
	2 福岡市民病院における経営改善の推進	